

豊丘村学校施設等長寿命化計画

策 定：令和3年3月

第1次改訂：令和4年5月

第2次改訂：令和5年5月

第3次改訂：令和5年9月

豊丘村教育委員

豊丘村学校施設等長寿命化計画

計画期間

令和 3（2021）年度 ～ 令和 8（2026）年度

目次

第1章 学校施設等の長寿命化計画の背景・目的等	1
1 計画の背景	1
2 計画の目的	2
3 計画期間	2
4 対象施設	2
5 計画の位置づけ	3
第2章 学校施設の目指すべき姿	4
1 学校施設の目指すべき姿	4
2 グランドデザイン	6
第3章 学校施設の実態	9
1 本村における人口の動向	9
（1）人口・世帯数の推移	9
（2）将来人口	10
2 学校施設の運営状況・活用状況等の実態	11
（1）児童生徒数及び学級数の変化	11
（2）学校施設位置図	12
（3）学校施設等の保有量	13
（4）学校施設等保有状況	15
（5）学校施設等関連経費の推移と修繕履歴	16
3 今後の維持・更新コスト（従来型）	22
4 学校施設等の老朽化状況の実態	23
（1）構造躯体の健全性の把握	23
（2）劣化状況の評価方法	24
（3）調査方法	25
（4）劣化状況の評価方法	28

第4章 学校施設整備の基本的な方針等	29
1 学校施設の規模・配置計画の方針	29
2 学校施設の長寿命化計画の基本方針	30
3 改修等の基本的な方針	31
4 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）	32
5 目標耐用年数の設定	33
6 更新周期	34
7 今後の方向性の定義	35
第5章 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準等	36
1 改修等の整備水準	36
2 維持管理の項目・手法等	39
第6章 長寿命化の実施計画	40
1 長寿命化の実施計画（中・長期計画）について	40
2 優先順位の考え方	40
3 施設類型別の個別施設計画表	42
4 各施設別の実施計画	43
（1）学校教育系施設①	44
（2）学校教育系施設②	46
（3）学校教育系施設③	48
（4）スポーツ・レクリエーション施設	50
5 今後の維持・更新コスト（中・長期計画）	52
第7章 長寿命化計画の継続的運用方針	53
1 情報基盤の整備と活用	53
2 財源の確保	54
3 推進体制等の整備	54
4 フォローアップの実施方針	54

第1章 学校施設等の長寿命化計画の背景・目的等

1 計画の背景

豊丘村（以下「本村」という。）の学校施設等は、昭和 30（1955）年に河野・神稲両村が合併し豊丘村が誕生、豊丘北小学校、豊丘南小学校、豊丘北中学校、豊丘南中学校となり、昭和 33（1958）年に中学校は合併し豊丘中学校となりました。豊丘南小学校の校舎は昭和 55（1980）年に建築され、新耐震基準以前の基準が適用された建物でしたが、平成 17（2005）年に耐震補強工事が完了しており、その他の建物は新耐震基準が適用された建物です。しかし、豊丘北小学校の校舎、体育館、豊丘南小学校の校舎、豊丘中学校の特別教室棟、村民体育館が築 30 年以上経過しており、今後、建物や設備等の老朽化に伴い、維持管理、更新等には膨大な経費が必要になると予測されます。

一方、財政面では、人口減少による税収の伸び悩み、少子高齢化社会の進展に伴う扶助費等経費の増大などによる財政状態の悪化が見込まれています。

国においても施設の老朽化は喫緊の課題と位置づけ、平成 25（2013）年 11 月に「インフラ長寿命化基本計画」を定め、国民の安全安心を確保し、中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図る方針が示されました。

これを踏まえ文部科学省は、平成 27（2015）年 3 月「文部科学省インフラ長寿命化計画（行動計画）」を策定しました。

本村においては、平成 29（2017）年 3 月に「豊丘村公共施設等総合管理計画（以下、「総合管理計画」という。）」を策定し、基本方針及び目標を定めました。

これらの指針を基に、学校施設等の長寿命化^{*1}計画を立て、可能な限り良好な状態で長期間利用し、施設整備にかかるコストを抑制することにより、中長期的な維持管理に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図り、学校施設等の機能を確保することが求められています。

また、学校施設等の整備にあたっては、単に劣化した建築物や設備を改修するだけでなく、その機能や性能を時代の要請に合った水準まで引き上げ、安全安心な施設環境の確保、教育環境の質的向上、多目的利用等を目指して再生を行うことも求められています。

^{*1} 長寿命化：計画的な保全（修繕や改修）を実施することにより、建物の構造的・機能的な寿命（耐震）を延ばすことに加え、建物の機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げる改修を行うこと。

2 計画の目的

「豊丘村学校施設等長寿命化計画（以下「本計画」という。）」は、計画の背景を踏まえて、現状の把握・分析に基づき、教育環境の質的改善も考慮しながら、今後の学校施設整備の具体的な計画を検討します。

現地調査を踏まえた劣化診断による劣化度等の評価を行い、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を勘案した長寿命化計画を策定することを目的とします。長寿命化計画では、これまでの「事後保全」から「計画保全」へと維持管理の手法を転換し、施設の機能を常に良好な状態に保つことが重要となります。

3 計画期間

本計画の計画期間は、上位・関連計画である「豊丘村総合振興計画」や「総合管理計画」などと連動しながら、概ね向こう6年間（令和3（2021）年度～令和8（2026）年度）を対象期間とします。令和8（2026）年度は、総合管理計画の最終年度にあたることから、本計画においても令和8（2026）年度を計画の目安として設定しました。

ただし、この期間内でも人口の変化、社会経済情勢、国の補助制度などの動向により、柔軟に計画を見直すこととします。

なお、コスト試算期間は計画上のゆとりをもたせて40年とします。

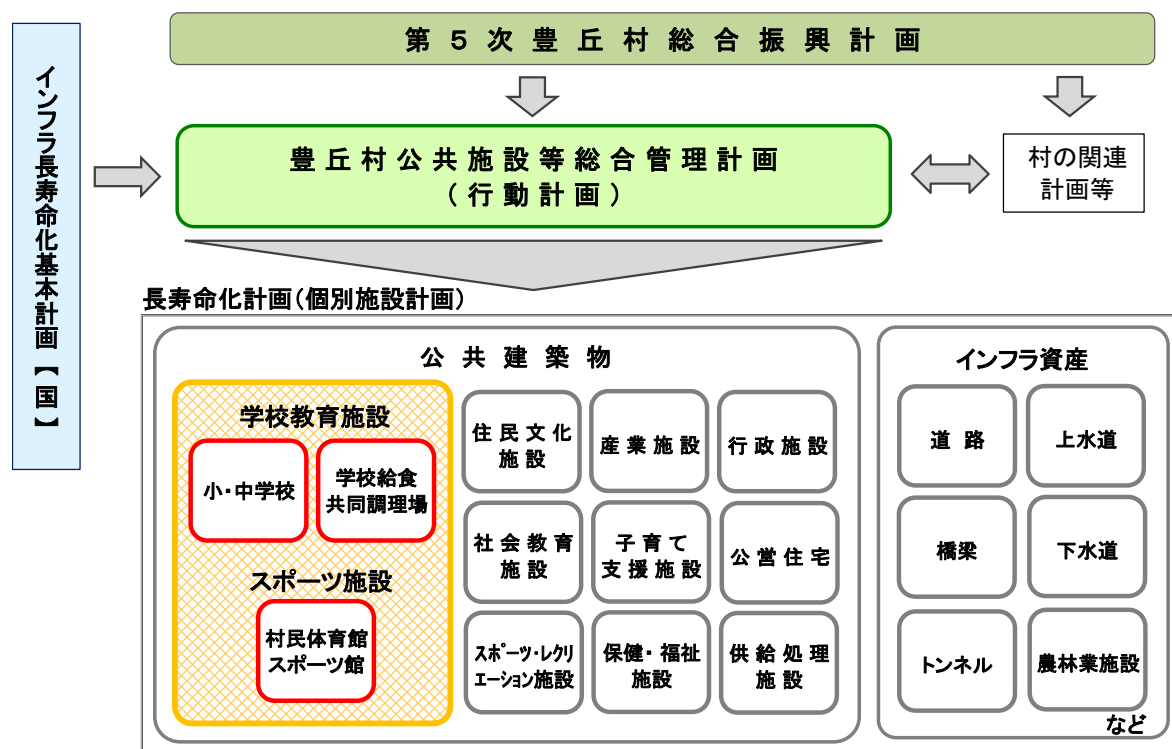
4 対象施設

本村が保有する豊丘北小学校、豊丘南小学校、豊丘中学校、学校給食共同調理場、村民体育館及びスポーツ館を対象とします。

5 計画の位置づけ

本計画は、国において公共施設等の老朽化対策として決定された「インフラ長寿命化基本計画」に基づいて策定した総合管理計画において定めた公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針を実現するための計画であり、学校教育施設等も個別施設計画として位置づけられます。

◆図表 1-1 本計画の位置づけ



第2章 学校施設の目指すべき姿

1 学校施設の目指すべき姿

第5次豊丘村総合振興計画において示された方針を前提とした上で、文部科学省の「学校施設整備基本構想の在り方について」において示された「安全性」、「快適性」、「学習活動への適応性」、「環境への適応性」、「地域の拠点化」の観点から、次のとおりとします。

1. 安全性

- ・地震に強い学校施設
- ・防災機能を備えた学校施設
- ・防犯・事故対策機能を備えた安全で安心な学校施設

2. 快適性

- ・快適な学習環境
 - 学習機能の向上に資する快適な学習環境
 - 児童生徒の学校への愛着をもつことができる学校
 - バリアフリーに配慮した環境
 - 子どもたちや保護者等が教員を訪れやすい空間
- ・教職員に配慮した環境
 - 教職員等の事務負担軽減などのための校務の情報化に必要なICT環境

3. 学習活動への適応性

- ・主体性を養う空間の充実
 - 子どもたち自ら課題をみつけ、自ら学び、自ら考え主体的な行動を促すための空間
 - 社会性を身に付けるための空間
- ・効果的・効率的な施設整備
 - 多様な学習集団・学習形態を展開するための空間
 - 学習効果を高めるためのICT環境
 - 各教科等の授業を充実させるための環境
- ・運動環境の充実
- ・伝統や文化に関する教育の充実
- ・外国語教育の充実
 - 児童生徒が積極的にコミュニケーションを図ることができる空間
- ・学校図書館の活用
 - 子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境

- ・キャリア教育・進路指導の充実
- ・食育の充実
- ・特別支援教育の推進

4. 環境への適応性

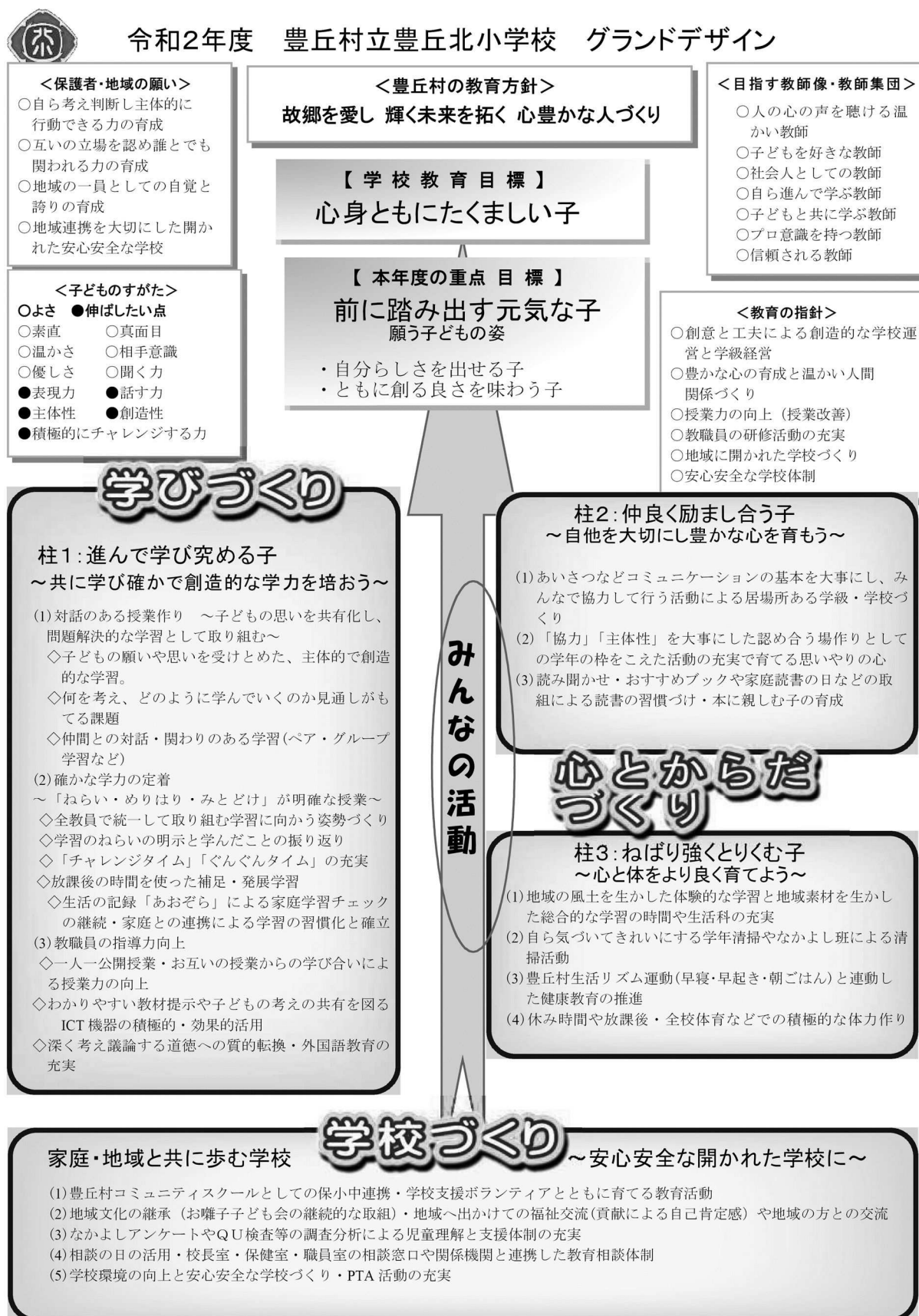
- ・環境を考慮した学校施設（エコスクール）

5. 地域の拠点化

- ・安全で安心な学校施設
- ・地域に開かれた学校とするための環境
- ・地域の生涯学習の拠点となる学校施設

2 グランドデザイン

◆図表 2-1 豊丘北小学校（グランドデザイン）



◆図表 2-2 豊丘南小学校（グランドデザイン）

令和2年度 豊丘南小学校 グランドデザイン



◆図表 2-3 豊丘中学校（グランドデザイン）



第3章 学校施設の実態

1 本村における人口の動向

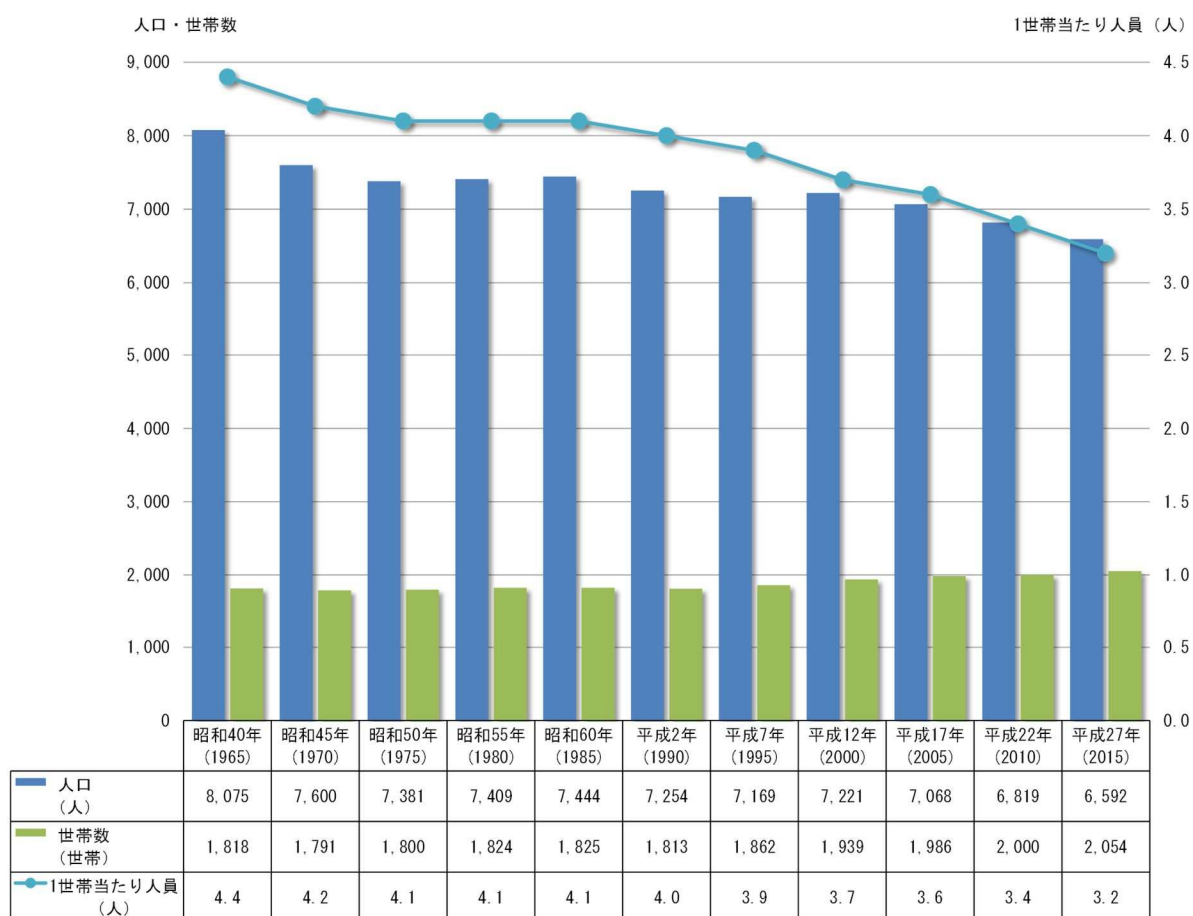
(1) 人口・世帯数の推移

国勢調査による本村の人口・世帯数の推移をみると、昭和45（1970）年から平成17（2005）年までは7千人台を維持していましたが、平成22（2010）年には7千人を割り込みました。昭和40（1965）年に8,075人であった人口は、平成27年には6,592人と50年間で1,483人、率で18.4%減少しています。

世帯数は、昭和40（1965）年の1,818世帯に対し平成27（2015）年は2,054世帯で、増加し続けています。

また、1世帯あたりの人員は、昭和40（1965）年の4.4人から年々減少し、平成27（2015）年には3.2人となっており、小世帯化が進行しています。

◆図表 3-1 人口・世帯数の推移



(出典：国勢調査)

(2) 将来人口

「豊丘村人口ビジョン」において、国の長期ビジョンを勘案し、本村の人口の現状を分析し、今後目指すべき将来の方向性と人口の将来展望を次のように提示しています。

5 将来展望

(1) ずっと住み続けたい、住んで良かったと感じてもらえる村へ

子育て・教育、医療・福祉、仕事、生活の利便性、安心・安全など、総合的に村づくりを進め、豊丘村の満足度を高めていきます。

(2) 結婚・出産・子育ての希望が叶う村へ

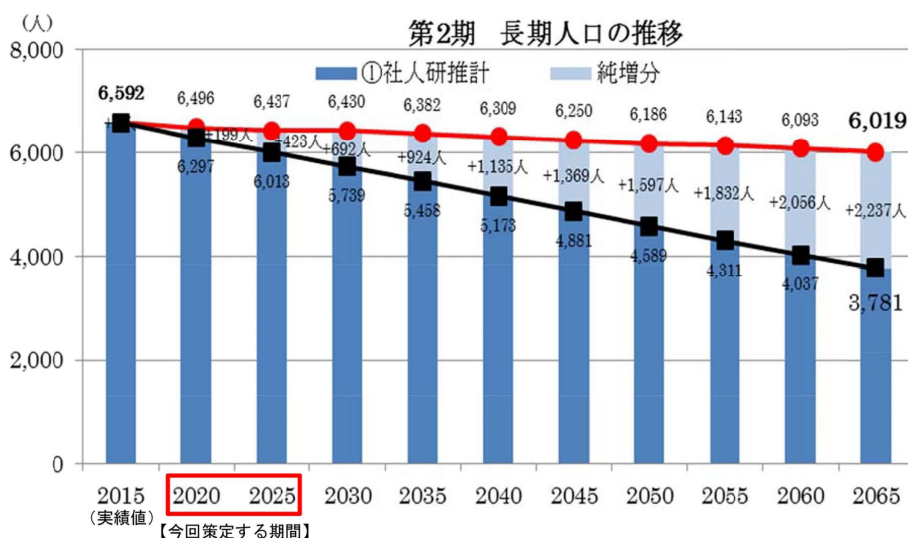
若い世代が希望する結婚・出産・子育てへの支援を実施することで、若者が理想とする子どもの数に近づけるように取組を推進します。

(3) 村内出身者・村外の人たちが住みたいと思える村へ

雇用の場の確保、住まいへの支援、豊丘村の情報発信などにより、U I J ターン者の増加を目指します。

(4) 人口の将来展望

(1) ～ (3) の人口対策の効果が十分実現すれば、5年後の人口は、6,437人までの人口減少に留められ、2065（令和47）年には6,019人を確保できます。



人口対策による効果と展望

希望する子どもの数の実現

【合計特殊出生率¹（自然動態*）】

平成23（2011）年～
 平成27（2015）年 1.66
 平成30（2018）年 1.51
 ⇒ 令和2（2020）年 1.70 ⇒ 令和7（2025）年 1.84
 平成27（2015）年 1.61 ⇒ 令和22（2040）年 2.07（人口置換水準）

移住・定住の促進

【社会増減（社会動態*）】

平成27（2015）年 -41（社会減）
 平成31（2019）年 +16（社会増）
 ⇒ 令和2（2020）年 社会増 ⇒ 令和22（2040）年 移動均衡

豊丘村の総人口

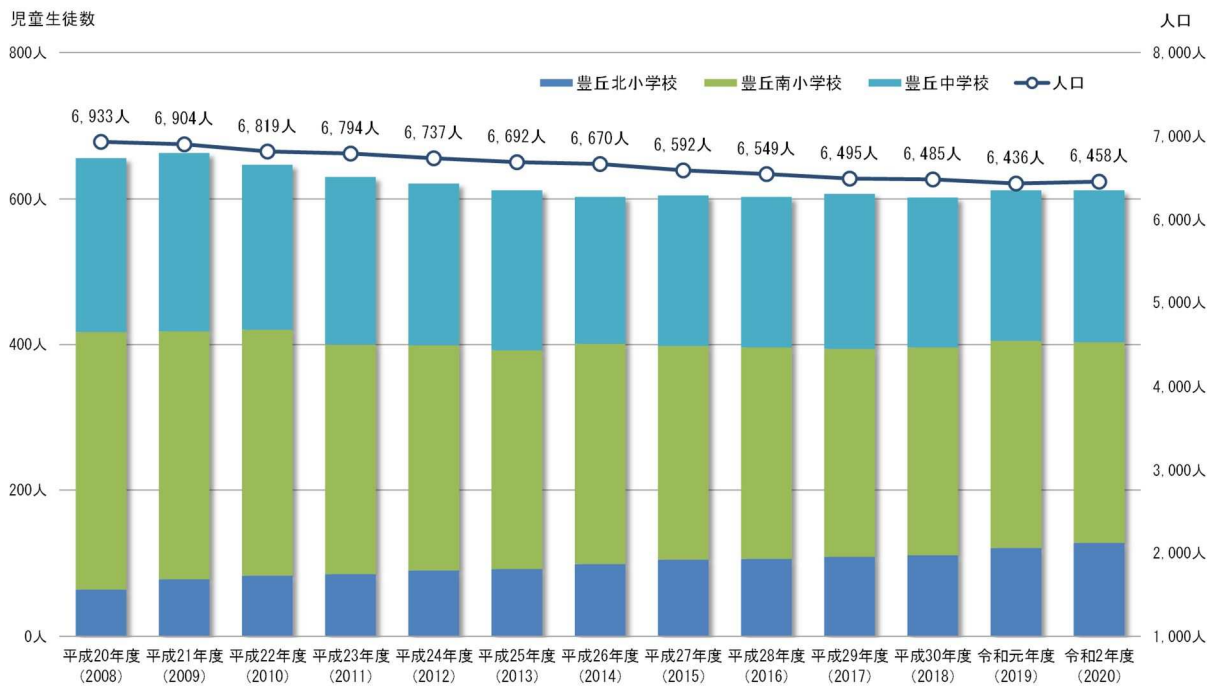
平成27（2015）年 6,592人
 平成31（2019）年 6,515人
 ⇒ 令和47（2065）年 6,019人

2 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

(1) 児童生徒数及び学級数の変化

平成20(2008)年以降の小学校及び中学校の児童生徒数の推移をみると、平成21(2009)年に児童生徒数は663人でしたが、5年後の平成26(2014)年には603人まで減少しました。その後、横ばいで推移しており、令和2(2020)年度の児童生徒数は612人となっています。一方、人口は平成20(2008)年から緩やかに減少しています。

◆図表 3-2 児童生徒数及び人口数の推移



(出典：長野県教育委員会 教育要覧，長野県 毎月人口異動調査)

◆図表 3-3 児童生徒数及び学級数の推移

年度/ 級/人数	平成20年度 (2008)		平成21年度 (2009)		平成22年度 (2010)		平成23年度 (2011)		平成24年度 (2012)		平成25年度 (2013)		平成26年度 (2014)		平成27年度 (2015)		平成28年度 (2016)		平成29年度 (2017)		平成30年度 (2018)		令和元年度 (2019)		令和2年度 (2020)	
	級	人数	級	人数	級	人数	級	人数	級	人数	級	人数	級	人数	級	人数	級	人数	級	人数	級	人数	級	人数	級	人数
豊丘北小学校	6	64	6	78	6	83	6	85	6	90	6	92	7	99	7	105	7	106	8	109	8	111	8	121	8	128
豊丘南小学校	14	353	14	340	14	337	14	315	14	309	15	300	16	302	15	293	15	290	15	285	14	285	14	284	15	275
豊丘中学校	9	239	9	245	8	227	9	230	9	222	9	220	9	202	9	207	10	207	10	213	9	206	8	207	9	209
合 計	29	656	29	663	28	647	29	630	29	621	30	612	32	603	31	605	32	603	33	607	31	602	30	612	32	612

(出典：長野県教育委員会 教育要覧)

(2) 学校施設位置図

◆図表 3-4 学校施設位置図



(3) 学校施設等の保有量

本計画対象施設 33 棟の延べ床面積は、豊丘北小学校 3,503.00 m² (校舎、体育館等)、豊丘南小学校 5,691.00 m² (校舎、体育館等)、豊丘中学校 7,553.95 m² (校舎、体育館等)、学校給食共同調理場 732.37 m²、村民体育館 4,556.00 m²、スポーツ館 1,106.00 m²であり、延べ床面積の総量は 23,142.32 m²です。

本村が保有する学校施設等のうち旧耐震基準の建築物は 6 棟で、そのうち豊丘南小学校の北校舎棟、南校舎棟、昇降口棟は平成 17 年に耐震補強工事済です。それ以外の 27 棟は新耐震基準により建築されています。

建物以外に各学校にプールがあります。

◆図表 3-5-1 建物一覧表

番号	施設名	建物名	学校調査番号	棟番号	所在地	構造	延床面積(m ²)	建築年度	
								西暦	和暦
1	北小学校	校舎	1152	14	河野1691	RC(鉄筋コンクリート造)	2,155.00	1981	昭和56年度
2	北小学校	ランチルーム	1152	17	河野1691	RC(鉄筋コンクリート造)	536.00	1981	昭和56年度
3	北小学校	体育館	1152	19	河野1691	SRC(鉄骨鉄筋コンクリート造)	747.00	1987	昭和62年度
4	北小学校	渡り廊下			河野1691	S(鉄骨造)	25.00	1987	昭和62年度
5	北小学校	プール機械室	1152	13	河野1691	RC(鉄筋コンクリート造)	17.00	2012	平成24年度
6	北小学校	プール更衣室			河野1691	RC(鉄筋コンクリート造)	23.00	1994	平成6年度
A	北小学校	プール			河野1691	—	25M×10M	1981	昭和56年度
7	南小学校	北校舎棟	1151	17	神稲3600-1	RC(鉄筋コンクリート造)	2,259.00	1980	昭和55年度
8	南小学校	南校舎棟	1151	19	神稲3600-1	RC(鉄筋コンクリート造)	1,666.00	1980	昭和55年度
9	南小学校	昇降口棟	1151	18	神稲3600-1	RC(鉄筋コンクリート造)	601.00	1980	昭和55年度
10	南小学校	体育館	1151	33-1	神稲3600-1	SRC(鉄骨鉄筋コンクリート造)	880.00	2010	平成22年度
11	南小学校	機械室	1151	20	神稲3600-1	RC(鉄筋コンクリート造)	18.00	1980	昭和55年度
12	南小学校	コンテナプール	1151	21	神稲3600-1	RC(鉄筋コンクリート造)	28.00	1980	昭和55年度
13	南小学校	渡り廊下			神稲3600-1	S(鉄骨造)	112.00	2010	平成22年度
14	南小学校	体育館北物置	1151	34-1	神稲3600-1	W(木造)	33.00	2010	平成22年度
15	南小学校	グラウンド便所	1151	28	神稲3600-1	S(鉄骨造)	37.00	1996	平成8年度
16	南小学校	プール機械室	1151	23	神稲3600-1	S(鉄骨造)	21.00	1980	昭和55年度
17	南小学校	プール更衣室			神稲3600-1	RC(鉄筋コンクリート造)	30.00	1982	昭和57年度
18	南小学校	体育館便所	1151	29	神稲3600-1	S(鉄骨造)	6.00	1996	平成8年度
B	南小学校	プール			神稲3600-1	—	50M×15M 15M×7M	1982	昭和57年度

◆図表 3-5-2 建物一覧表

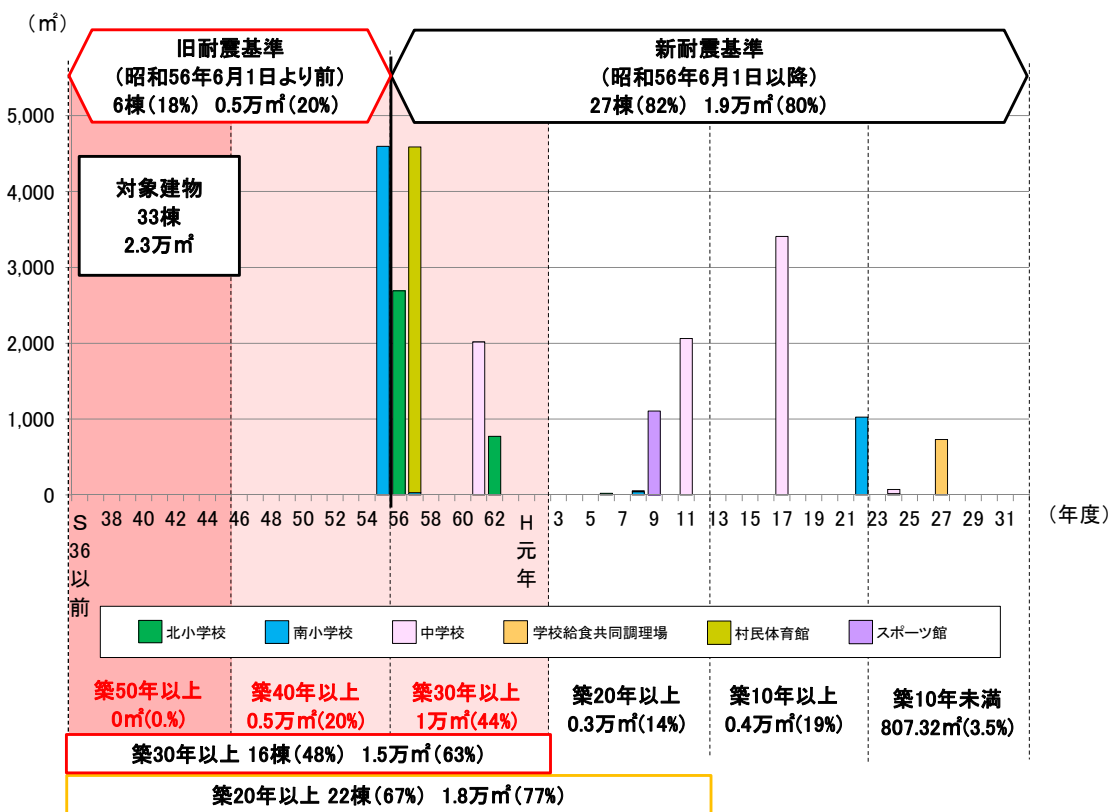
番号	施設名	建物名	学校調査 番号	棟番号	所在地	構造	延床面積 (㎡)	建築年度	
								西暦	和暦
19	中学校	校舎	4376	41	神稲4020	RC(鉄筋コンクリート造)	3,237.00	2005	平成17年度
20	中学校	特別教室西棟	4376	24	神稲4020	RC(鉄筋コンクリート造)	1,563.00	1986	昭和61年度
21	中学校	特別教室東棟	4376	25	神稲4020	RC(鉄筋コンクリート造)	346.00	1986	昭和61年度
22	中学校	体育館	4376	35-1,35-2,35-3	神稲4020	SRC(鉄骨鉄筋コンクリート造)	2,063.00	1999	平成11年度
23	中学校	特別教室棟渡り廊下			神稲4020	S(鉄骨造)	21.00	1986	昭和61年度
24	中学校	音楽室棟渡り廊下			神稲4020	S(鉄骨造)	88.00	1986	昭和61年度
25	中学校	便所	4376	32	神稲4020	RC(鉄筋コンクリート造)	31.00	2005	平成17年度
26	中学校	渡り廊下			神稲4020	RC(鉄筋コンクリート造)	72.00	2005	平成17年度
27	中学校	プール更衣室	4376	15	神稲4020	W(木造)	46.91	2012	平成24年度
28	中学校	プール機械室	4376	16	神稲4020	W(木造)	11.04	2012	平成24年度
29	中学校	プール便所	4376	33	神稲4020	S(鉄骨造)	11.00	1996	平成8年度
30	中学校	更衣室	4376	42	神稲4020	RC(鉄筋コンクリート造)	64.00	2005	平成17年度
C	中学校	プール			神稲4020	—	25M×15M	1964	昭和39年度
31	学校給食共同調理場	学校給食共同調理場	K038	2	神稲3600-1	S(鉄骨造)	732.37	2015	平成27年度
32	村民体育館	村民体育館			神稲5081-1	RC(鉄筋コンクリート造)	4,556.00	1982	昭和57年度
33	スポーツ館	スポーツ館			神稲3468	S(鉄骨造)	1,106.00	1997	平成9年度

(4) 学校施設等保有状況

築年別整備状況は図表 3-6 に示すとおりで、新耐震基準により建築された建物は 27 棟(82%)、残りの 6 棟 (18%) は昭和 56 (1981) 年以前の旧耐震基準により建築された建物です。旧耐震基準で建築された豊丘南小学校の校舎は耐震化が実施済みとなっています。

築年数では 20 年以上の建物が 22 棟と棟数で全体の 67%を占め、今後大規模改修など老朽化への対応、安全性を高める改修工事など、建物の適切な修繕や改修が必要になってきます。

◆図表 3-6 築年別整備状況



（５）学校施設等関連経費の推移と修繕履歴

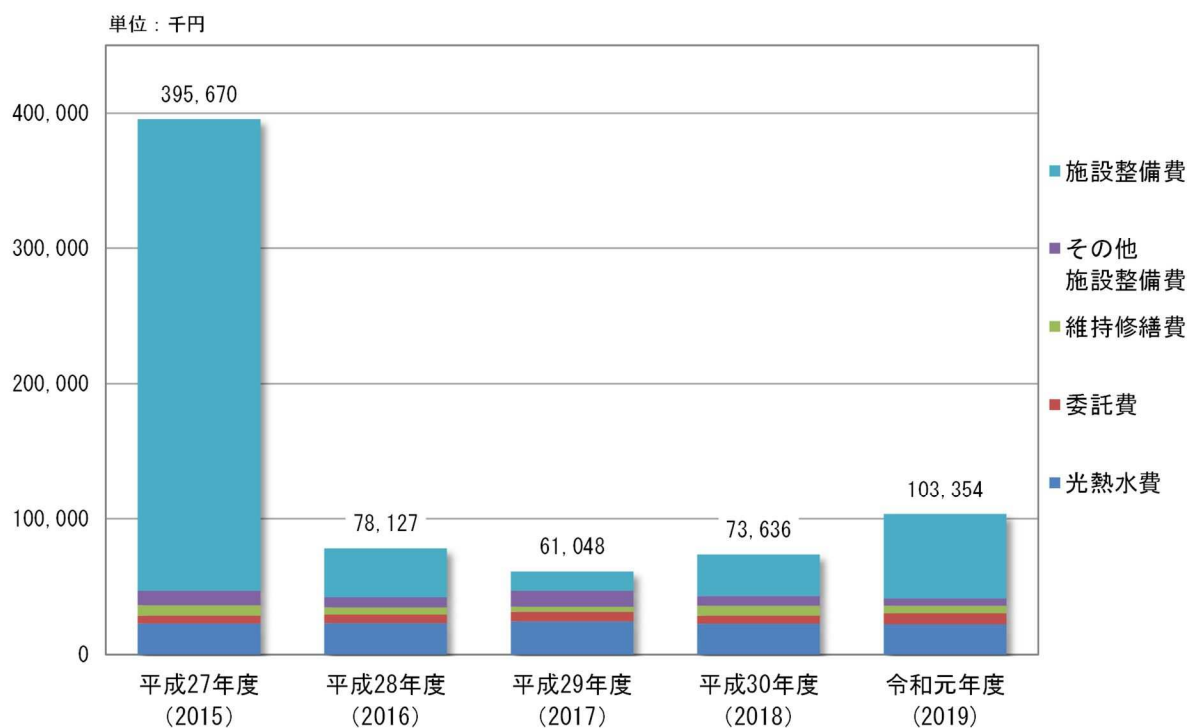
平成 27（2015）～令和元（2019）年度の 5 年間の学校施設等関連経費は約 61～396 百万円で、年平均は約 142 百万円となります。平成 27（2015）年度は、学校給食共同調理場建設工事、豊丘北小学校、豊丘中学校の体育館吊り天井落下防止対策工事により施設整備費が高額となっています。

◆図表 3-7 学校施設等関連経費の推移表

（単位：千円）

年度 関連経費区分	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	直近5年平均
施設整備費	348,711	36,061	14,159	30,661	62,152	98,349
その他施設整備費	10,613	7,211	11,649	7,040	5,262	8,355
維持修繕費	7,551	5,541	3,681	7,150	5,482	5,881
委託費	5,836	6,187	7,121	6,071	8,277	6,698
光熱水費	22,959	23,127	24,438	22,713	22,181	23,084
施設関連経費合計	395,670	78,127	61,048	73,636	103,354	142,367

◆図表 3-8 学校施設等関連経費の推移



◆図表 3-9-1 学校施設等修繕等履歴調査表

千円単位(税込)														
番号	施設名	建物名	修 繕 履 歴		直 近 5 年 間 の 実 績									
			建設時～平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
			工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額
1	北小学校	校舎			教育黒板修理	64	校舎屋上防水改修工事	8,208	トイレ改修工事(体育館トイレ様式化工事5基 教室棟トイレ入口建具軽量化工事6か所)	3,791	トイレ改修工事	7,560	平成30年度 豊丘北小学校エアコン設置工事(10教室)	18,306
					職員トイレ改修工事	246	校舎屋上防水改修工事実施設計業務	432	灯油タンク設置工事	983	普通教室照明器具交換工事	1,512	平成30年度 豊丘北小学校エアコン設置工事 設計監理業務委託	861
					トイレパーテーション修繕工事	51	校舎屋上防水改修工事施工監理業務	216	扇風機取り付け工事	497	教室網戸設置工事	734	修繕(トイレ臭気抑制工事)	85
							保健室・理科室外足洗い場修理代	97	灯油地下タンク廃止工事	486	職員通用口工事	499	修繕校舎小破修理(教室入口扉修繕)	73
							受変電設備改修	66	漏水に伴う給水バルブ交換	118	西階段手摺設置工事	123	校舎小破修理(5年生教室可動黒板修繕)	56
							旧図書室照明改修工事	335	天井埋込型スピーカー修理(非常放送用)	52	水栓取替	136		
							パソコン教室エアコン更新工事	594	4年教室 黒板修理	76	校長室時床張替	189		
							特別支援教室可動間仕切り設置工事	497	職員室ブライインド取付工事	93	貯水槽撤去工事	778		
								校長室ブライインド取付工事	63	2F男子トイレ・女子トイレ洗浄管交換	59			
								校長室照明交換工事	216	理科室暗幕取替	94			
								普通教室コンセント改修・増設工事	281					
								普通教室入り口建具調整	83					
								音楽室扉修繕	105					
								かがやき学級教室入り口鍵組み替え	65					
								地下倉庫電気設備工事	162					
2	北小学校	ランチルーム			給食コンテナプール改修工事	363	図書室改修工事設計監理業務	324	昇降口横通路階段改修	173			コンテナプール前廊下クレセント錠交換工事	70
							図書室改修工事	3,456	ビニール床シート材張替	77			修繕校舎小破修理(昇降口引戸修繕)	75
							新図書室(ランチルーム)畳コーナー設置工事	270						
							新図書室(ランチルーム)遮光カーテン設置工事	410						

◆図表 3-9-2 学校施設等修繕等履歴調査表

千円単位(税込)														
番号	施設名	建物名	修 繕 履 歴		直 近 5 年 間 の 実 績									
			建設時～平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
			工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額
3	北小学校	体育館			体育館屋根 箱樋防水工 事	499			体育館器具 庫扉修繕	194	体育館出入 口鋼製扉塗 装塗替え	67	体育館鋼製 建具修繕工 事	158
					体育館屋根 シート 防水トップコート塗 替え他工事	454			トイレ改修工事(体育館ト イレ様式化工事5基 教 室様式トイレ入口建具軽 量化工事6か所)	No.1に 含まれ る				
					体育館屋根 塗装工事	1,080								
					体育館吊り天 井落下防止 対策工事	24,840								
					体育館吊り天井落 下防止対策 設計 施工監理業務	1,458								
					体育館排煙 窓開閉装置 取替工事	454								
					ガラス飛散防 止フィルム貼 り									
4	北小学校	渡り廊下											渡り廊下雨漏 れ対策工事	105
5	北小学校	プール機械 室												
6	北小学校	プール更衣 室									プール更衣 室換気扇取 付	93		
A	北小学校	プール			プール足洗い 場埋め戻し	79	プール破損 バルブ取替	98	プール防水 改修工事	8,748	プールシャ ワー配管修 理	80		
									プールシャ ワー配管漏 水修理	160				
7	南小学校	北校舎棟	H17 耐震補 強		黒板張替 2 年2組、3年2 組、昇降口	159	太陽光パネ ル基盤修理	234	灯油タンク設 置工事	1,015	第二音楽室 遮光カーテン 修理取替	56	平成30年度 豊 丘南小学校エ アコン設置工 事(19 教室)	40,177
					保健室網戸 取付	105	校舎防火設備法令 不適合改修工事 設計監理業務	972	昇降機修理 代	73	トイレパネルヒー ター取替工事(北校 舎2階、1台)	50	平成30年度 豊 丘南小学校エ アコン設置工 事設計監理 業務委託	1,512
							校舎防火設備法令 不適合改修工事	10,692	灯油地下タン ク廃止工事	486	エレベーター 機能維持修 理	191	エレベーター 機能維持修 理	109
							受変電設備 改修工事	1,879					LED誘導灯 取替工事	97
													教室用LED 交換工事(1 年2教室分)	440
													教室用蛍光灯L ED交換工事(2 年1教室分)	220
													教室蛍光灯LED 交換工事(2年2 組教室)	220

◆図表 3-9-3 学校施設等修繕等履歴調査表

番号	施設名	建物名	修 繕 履 歴		直 近 5 年 間 の 実 績									
			建設時～平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
			工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額
7	南小学校	北校舎棟											資料室改修工事	594
													会議室カーテン取替	71
8	南小学校	南校舎棟	H17 耐震補強		カーテン修理 6年1組、6年2組	155	電話設備更新工事	1,369	放送室床修理代	86	教室LED照明取替工事(4年教室LED照明取替工事(黒板灯2灯含む))	216	平成30年度 豊丘南小学校エアコン設置工事(19教室)	No.7に含まれる
					教室床修理 6年2組・5年2組	72	4年2組LED照明交換	177			教室LED照明取替工事(6の2教室LED取替工事)	216	平成30年度 豊丘南小学校エアコン設置工事設計監理業務委託	No.7に含まれる
					第一理科室床塗装・研磨工事	260	校舎防火設備法令不適合改修工事設計監理業務	No.7に含まれる			トイレ修理	59	第2理科室カーテン取替	151
					理科室実験机天板張替工事 12枚	492	校舎防火設備法令不適合改修工事	No.7に含まれる					LED誘導灯取替工事	No.7に含まれる
					4年2組黒板修理	50	南校舎 3階教室床修繕工事	4,968						
9	南小学校	昇降口棟	H17 耐震補強		職員玄関ガラスワイヤー透明ガラス交換一式	63	校舎防火設備法令不適合改修工事設計監理業務	No.7に含まれる					LED誘導灯取替工事	No.7に含まれる
					黒板張替 2年2組、3年2組、昇降口	No.7に含まれる	校舎防火設備法令不適合改修工事	No.7に含まれる						
					便所排水改良工事 職員男子・6年男子	324								
10	南小学校	体育館			体育館オペレーター ハンドル取替え	53	体育館強化ガラス修理	59						
11	南小学校	機械室												
12	南小学校	コンテナプール												
13	南小学校	渡り廊下							渡り廊下改修工事	2,581				
14	南小学校	体育館北物置			倉庫移転工事	628								
15	南小学校	グラウンド便所			グラウンド横トイレ 配管修理	173								
16	南小学校	プール機械室									プール機械室屋根修繕工事	77	プール機械室屋根改修工事	67
17	南小学校	プール更衣室												
18	南小学校	体育館便所												

◆図表 3-9-4 学校施設等修繕等履歴調査表

番号	施設名	建物名	修 繕 履 歴		直 近 5 年 間 の 実 績									
			建設時～平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
			工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額
B	南小学校	プール											プール排水口修理	84
19	中学校	校舎			給食コンテナ プール改修・ 車止め移設	441	校内放送設備更新工事	2,052	防犯カメラ修繕工事	421	普通教室エアコン設置工事 (11教室)	16,189	豊丘中学校 エアコン設置工事	1,296
					中学校電話設備更新工事			1,493	放送室 調整卓修理	51	昇降機機能維持修理	836	応接室照明器具取替修理	136
											保健室温水器取替修理	162	LED誘導灯避難口等消防設備不良取替修理	55
											職員室温水器取替修理	201	応接室換気扇取替修理、自然園センサーライト取替修理	58
											消防設備改修受信機用蓄電池取替修理	60		
20	中学校	特別教室西棟			美術室鍵交換修理	54	調理室網戸取付工事	174	ガラスフィルム工事	299	ガス漏れ警報器取替修理	68	美術室網戸取り付け修理	135
									暗幕カーテン修理他	95	特別教室棟ドア修理	63	LED誘導灯避難口等消防設備不良取替修理	No.19に含まれる
21	中学校	特別教室東棟											音楽室不凍栓取替修理	68
													LED誘導灯避難口等消防設備不良取替修理	No.19に含まれる
													楽器庫カーテン取替修理	53
22	中学校	体育館			体育館吊り天井落下防止対策設計施工監理業務	2,732	体育館横水道修理(不凍栓交換)	135			体育館卓球場電動レール修理	336	体育館スクリーンワイヤー取替修理	124
					中学校体育館吊り天井落下防止対策工事	59,972	体育館ステージ バトンウィンチ修理	119					体育館ギャラリー電動レール修理	295
					外壁パネル塗装工事	1,328							体育館2F柔剣道場窓オーバーター修理	110
					体育館 バスケツゴール・防球ネット電気配線改修工事	400								
					体育館 器具庫出入口扉改修工事	410								
					体育館 柔剣道場・アリーナ出入口増設工事	443								
					体育館 内装補修工事	448								
					体育館カーテンレール不具合改修	80								

◆図表 3-9-5 学校施設等修繕等履歴調査表

千円単位(税込)

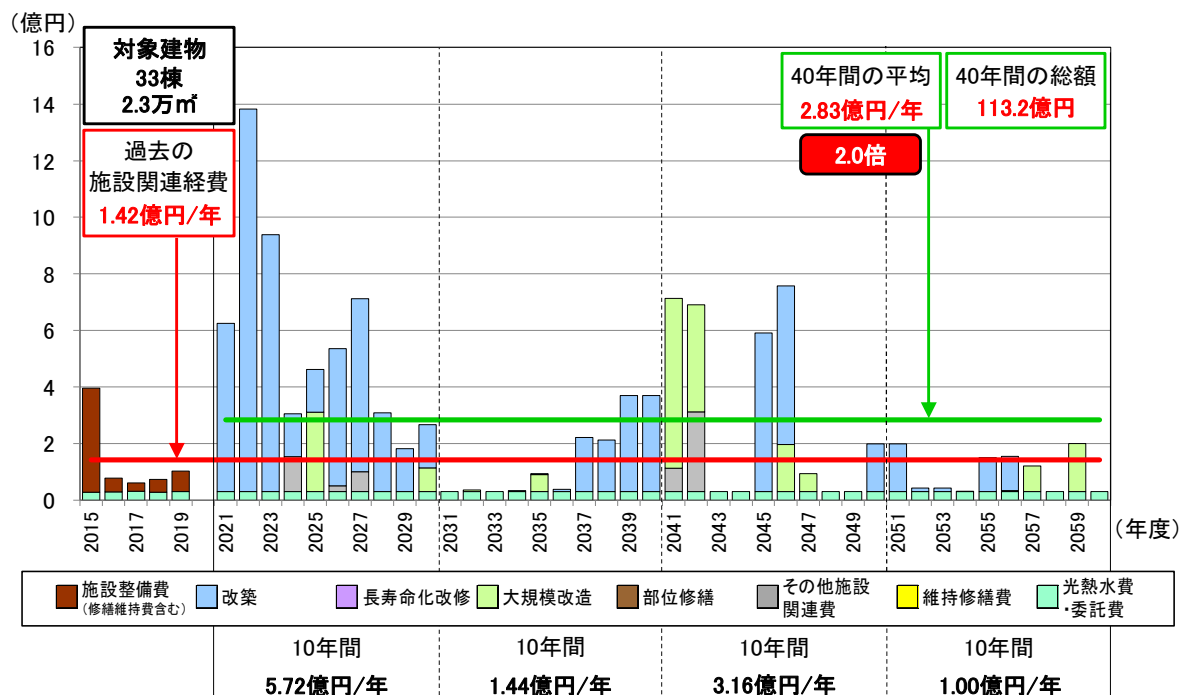
番号	施設名	建物名	修 繕 履 歴		直 近 5 年 間 の 実 績									
			建設時～平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
			工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額
23	中学校	特別教室棟 渡り廊下												
24	中学校	音楽室棟渡 り廊下												
25	中学校	便所												
26	中学校	渡り廊下												
27	中学校	プール更衣 室												
28	中学校	プール機械 室												
29	中学校	プール便所												
30	中学校	更衣室												
C	中学校	プール											プール本体排水 樹修理(二重構 造へ改修)	92
31	学校給食共同調 理場	学校給食共 同調理場			学校給食共同調理 場建設工事 設計 監理業務(明許繰 越)	6,621	給食センター廃 材庫出入口 サ ムターンキー増 設工事	52			学校給食共 同調理場ダク ト改修工事	702		
					学校給食共同調理 場建設工事(明許 繰越)	240,978	物置雑庫移 動工事	72			学校給食共 同調理場 床 補修工事	99		
					給食センター 施設内 消火 栓移転工事	400					学校給食共同調 理場 屋外照明 追加工事	60		
32	村民体育館	村民体育館	H23 改修	7,623	村民体育館 防球ネット開 閉装置修繕	259	村民体育館 ベンチ張替・ 修理(2台)	59	村民体育館 天井照明取 替工事	4,320	村民体育館 排煙窓改修 工事請負費	5,400	村民体育館 建具修繕工 事	183
							村民体育館 自動ドア修繕 工事	292	村民体育館 消 防設備不良箇所 改修費	206	村民体育館 防球ネット修 繕料	189	村民体育館 入口建具交 換工事	847
							床タイル修繕 ほか	140					消火ポンプ修 繕工事費	121
33	スポーツ館	スポーツ館			スポーツ館整 備修繕料	50	室内スポーツ 館 コート整 備・修繕料	55	室内スポーツ 館 コート整 備・修繕料	61	スポーツ館整 備修繕料	61	室内スポーツ 館整備・修繕 料	61
					スポーツ館 漏電改修工 事	55	スポーツ館窓 開閉装置修 理工事	767					スポーツ館 ガラス修理	53

3 今後の維持・更新コスト（従来型）

学校施設等において、建設後 40 年前後（従来型）で建替えを行った場合、今後 40 年間のコストは 113.2 億円（2.83 億円/年）かかると試算されます。これは、直近 5 年間の施設関連経費 1.42 億円/年の 2.0 倍になります。

今後、長寿命化によるトータルコストの縮減と予算の平準化を図り計画的に進めていく必要があります。

◆図表 3-10 今後の維持・更新コスト（従来型）



コスト算出条件（従来型）

- ・物価変動率、落札率は考慮しない。

基準年度：令和2（2020）年度（試算期間：基準年の翌年度から40年間）

改築：更新周期40年、工事期間2年

実施年数より古い建物の改修を10年以内に実施

改築単価 330,000 円/㎡

（総務省「公共施設等更新費用試算ソフト」学校施設更新単価平均）

改築は現在の延床面積と同じものとする。

大規模改造：実施年数20年周期、工事期間1年

4 学校施設等の老朽化状況の実態

(1) 構造躯体の健全性の把握

長寿命化計画策定段階においては、今後の維持・更新コストの試算における区分を「試算上の区分」として設定しています。構造や耐震基準、履歴調査、現地調査等の結果を基に、長寿命化改修に適さない可能性のある建物を簡易に選別しています。(図表 3-11)

工事実施段階においては、躯体の詳細な調査結果（コンクリート圧縮強度等）、及び施設の重要性や利用状況等の観点から総合的に検討した上で「長寿命」または「改築」を最終的に判断していくことになります。

◆図表 3-11 試算上の区分

構造	耐震基準	耐震補強等	試算上の区分	備考
RC SRC S CB	新	—	長寿命	
	旧	済み	長寿命	※1
		未	要調査、改築	耐震補強又は使用不可
W	新	—	改築	
	旧	—		

※1 RC造の場合は、コンクリート圧縮強度 13.5N/mm²以下のもの、S造の場合は、おおむね 40 年以上で腐食や劣化の進行が著しいもの、またはこれらの状況が不明な場合は「要調査」となる。

■構造

RC：鉄筋コンクリート造

SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造

S：鉄骨造

CB：コンクリートブロック造

W：木造（軽量鉄骨造、小規模建物等含む）

■耐震基準

新耐震基準：昭和 56（1981）年 6 月 1 日以降の建築確認において適用されている基準をいう。

旧耐震基準：その前日まで適用されていた基準をいう。

(2) 劣化状況の評価方法

建物の劣化状況の調査結果を分析・評価し、長寿命化に必要なコストと保全の優先順位を設定するため、以下のように評価を行い、総合劣化度を算出しました。

① 評価基準

評価基準をA～Dの4段階としました。（図表 3-12）

◆図表 3-12 評価基準

評価	劣化状況の評価基準	評価点
A評価	概ね良好	10 点
B評価	局所、部分的に劣化が見られるが、安全上、機能上、問題なし	40 点
C評価	随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上、低下の兆しが見られる	70 点
D評価	随所、広範囲に著しい劣化が見られ、安全上、機能上、問題があり、早急に対応する必要がある	100 点

② 部位の重要度係数

部位により建物の安全性もしくは機能性に及ぼす影響が異なることから、財団法人建築保全センター発行の「ライフサイクルコストデータベース（H17 版）」の分類を参考とし、部位の重要度係数を以下の3段階としました。（図表 3-13）

◆図表 3-13 部位の重要度係数

部位の重要度の判断基準		重要度係数
大	特に安全性に関わる部位（躯体、屋上、外壁）	1.00
中	計画保全が望ましい部位（外部開口部、電気、機械）	0.50
小	事後保全で良い部位（内部、給排水、その他外部ほか）	0.25

③ 現況劣化度

$$\text{現況劣化度} = \frac{\text{総和（各部の劣化状況評価点} \times \text{部位の重要度係数）}}{\text{評価の対象部位数}}$$

④ 総合劣化度

$$\text{総合劣化度} = \text{現況劣化度} + \text{築年数}$$

※但し、当該建物に大規模改修履歴がある場合は、15点減じています。
点数が大きいほど、建物の劣化が進んでいることになります。

⑤ 総合劣化度の推測方法

劣化状況調査を実施しない建物については、構造別の耐用年数においてD評価になると仮定し、築年数により劣化度を推測して、総合劣化度を算出しました。推測した総合劣化度は、（ ）書きで表示しています

(3) 調査方法

劣化状況の現地調査は、まず基本情報の整理、修繕履歴調査を行ったうえで、現地において施設の部位ごとに専門家（一級建築士）の目視による点検を行い、調査結果を劣化調査表に記録するとともに、現況写真を撮影しました。

◆図表 3-14 劣化調査表（一部抜粋）

通し番号	1				
施設名	北小学校	学校番号	1152	調査日	令和2年5月21日
建物名	校舎	記入者	〇〇 〇〇		
棟番号	14	建築年度	昭和56 年度(1981 年度)		
構造種別	RC	延床面積	2,155 m ²	階数	地上 3 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	部分的 規模 範囲	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水	H28	校舎屋上 防水改修 工事	☐ 汚れ	☐ 〇 ☐ 〇 ☐ 〇	軒天:エフロッセ ン、断熱材剥が れ、仕上材剥が れ 屋上 手摺:鉄部 錆 ベランダ軒天:仕 上材剥がれ、鉄 筋露出	B
	☐ アスファルト露出防水			☐ 変退色	☐ 〇 ☐ 〇 ☐ 〇		
	☐ シート防水、塗膜防水			☐ 仕上材剥がれ	☐ 〇 ☐ 〇 ☐ 〇		
	☒ 勾配屋根(長尺金属板、折板)			☐ 錆・錆汁	☐ 〇 ☐ 〇 ☐ 〇		
	☐ 勾配屋根(スレート、瓦類)			☐ 変形・損傷・破損等	☐ 〇 ☐ 〇 ☐ 〇		
	☐ その他の屋根 ()			☐ 屋内等への漏水	☐ 〇 ☐ 〇 ☐ 〇		
	☐ その他 ()			☐ その他 ()	☐ 〇 ☐ 〇 ☐ 〇		
2 外壁	☐ モルタル等の塗仕上げ			☒ 汚れ	☒ 〇 ☐ 〇 ☐ 〇	外床:ひび割 れ、タイル破損	B
	☐ タイル張り、石張り			☐ 変退色	☐ 〇 ☐ 〇 ☐ 〇		
	☐ 金属系パネル			☒ 仕上材剥がれ	☒ 〇 ☐ 〇 ☐ 〇		
	☐ コンクリート系パネル(ALC等)			☐ ひび割れ	☐ 〇 ☐ 〇 ☐ 〇		
	☒ その他の外壁 (RC)			☐ モルタル・タイル等の浮き	☐ 〇 ☐ 〇 ☐ 〇		
	☒ アルミ製サッシ			☐ 錆・錆汁	☐ 〇 ☐ 〇 ☐ 〇		
	☐ 鋼製サッシ			☐ 変形・損傷・破損等	☐ 〇 ☐ 〇 ☐ 〇		
	☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 屋内等への漏水	☐ 〇 ☐ 〇 ☐ 〇		
	☐ その他 ()			☐ その他 ()	☐ 〇 ☐ 〇 ☐ 〇		

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	☐ 老朽改修		指摘事項 床:摩耗、シート剥がれ/壁:ひび割れ	B
	☐ エコ改修		天井:漏水痕、仕上材剥がれ/建具:取付け不良	
	☐ トイレ改修	R元	トイレ臭気抑制工事/教室入口扉修繕/5年生教室可動黒板修繕	
	☐ 法令適合	H30	普通教室照明器具交換工事/校長室時床張替/職員通用口工事/理科室暗幕取替	
	☐ 校内LAN		西階段手摺設置工事/教室網戸設置工事/2F男子・女子トイレ洗浄管交換	
	☐ 空調設置	H29	扇風機取り付け工事/校長室、職員室ブラインド修理	
	☐ 障害児等対策		校長室照明交換工事/音楽室扉修繕/普通教室コンセント改修・増設工事	
	☐ 防犯対策		4年教室黒板修理/かがやき学級教室入り口鍵組み替え	
	☐ 構造体の耐震対策	H28	普通教室入り口建具調整/音楽室扉修繕	
	☐ 非構造部材の耐震対策		旧図書室照明改修工事/パソコン教室エアコン更新工事	
☐ その他、内部改修工事		特別支援教室可動間仕切り設置工事/保健室・理科室外足洗い場修理		
4 電気設備	☐ 分電盤改修	H27	職員トイレ改修工事/トイレパーティション修繕工事/教育黒板修理	B
	☐ 配線等の敷設工事			
	☐ 昇降設備保守点検	H29	地下倉庫電気設備工事/天井埋込型スピーカー修理(非常放送用)	
	☐ その他、電気設備改修工事	H28	受変電設備改修	
5 機械設備	☐ 給水配管改修	H30	貯水槽撤去工事/水栓取替	B
	☐ 排水配管改修	H29	灯油タンク設置工事/灯油地下タンク廃止工事	
	☐ 消防設備の点検		漏水に伴う給水バルブ交換	
	☐ その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

R元 エアコン設置工事(10教室)/エアコン設置工事設計監理業務委託

H30-H29 トイレ改修工事(教室棟トイレ入口建具軽量化工事)

現況劣化度
26

◆図表 3-15-1 現況写真（一部抜粋）

写 真 台 帳

1.北小学校



P1540143_R.JPG

建物名	校舎	外観:現況
写真No.	1	
部位	外観	
評価		



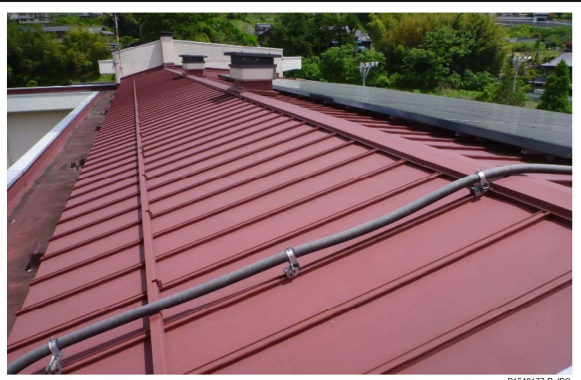
P1540152_R.JPG

建物名	校舎	外観:現況
写真No.	2	
部位	外観	
評価		



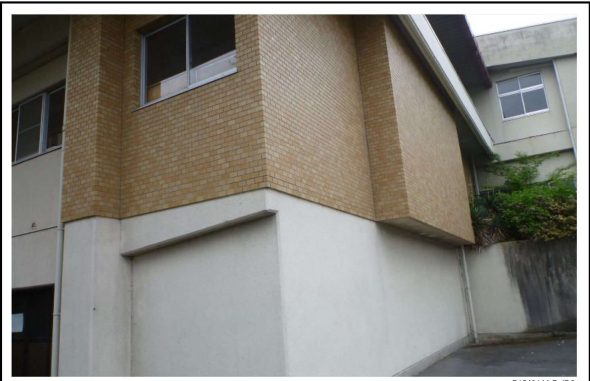
P1540153_R.JPG

建物名	校舎	外観:現況
写真No.	3	
部位	外観	
評価		



P1540177_R.JPG

建物名	校舎	屋根:現況 太陽光パネル:現況
写真No.	4	
部位	屋根・屋上	
評価	B	



P1540144_R.JPG

建物名	校舎	外壁:現況
写真No.	5	
部位	外壁	
評価	B	



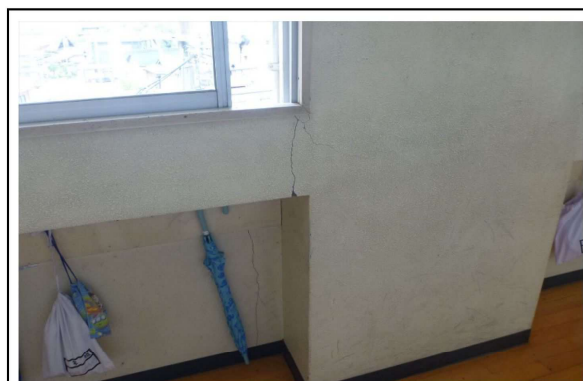
P1540145_R.JPG

建物名	校舎	軒天:エフロレッセンス
写真No.	6	
部位	屋根・屋上	
評価	B	

◆図表 3-15-2 現況写真（一部抜粋）

写真台帳

1.北小学校



P1540201_R.JPG

建物名	校舎	3F 廊下 壁:ひび割れ
写真No.	31	
部位	内部仕上	
評価	B	



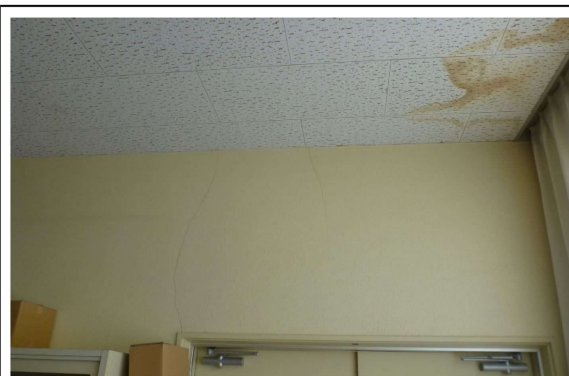
P1540204_R.JPG

建物名	校舎	3F 図工室:現況
写真No.	32	
部位	内部仕上	
評価	B	



P1540205_R.JPG

建物名	校舎	3F 音楽準備室 天井:漏水痕
写真No.	33	
部位	内部仕上	
評価	B	



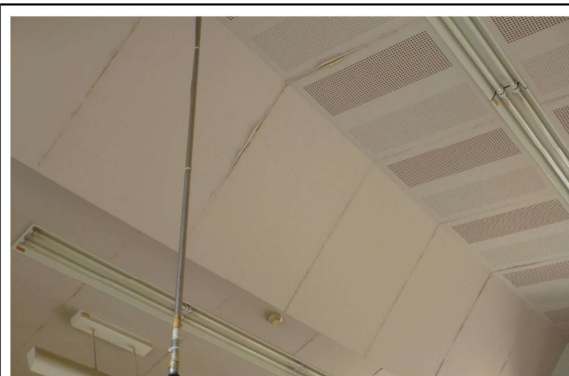
P1540206_R.JPG

建物名	校舎	3F 音楽準備室 壁:ひび割れ
写真No.	34	
部位	内部仕上	
評価	B	



P1540207_R.JPG

建物名	校舎	3F 音楽室:現況
写真No.	35	
部位	内部仕上	
評価	B	



P1540208_R.JPG

建物名	校舎	3F 音楽室 天井:仕上げ材剥がれ
写真No.	36	
部位	内部仕上	
評価	B	

(4) 劣化状況の評価方法

学校施設等の劣化状況調査結果を基に分析・評価を行った結果は、図表 3-16 建物状況一覧表のとおりです。

「早急に対応する必要がある」とされるD評価判定のある建物はありませんでした。また、「広範囲に劣化」とされるC評価を含む建物は2棟ありました。

◆図表 3-16 建物状況一覧表

										※1 長寿命：長寿命化改修対象 要調査：耐震診断・耐震補強対象 改築：建替え対象				A：概ね良好 B：部分的に劣化		C：広範囲に劣化 D：早急に対応する必要がある								
基準 2020																								
建物基本情報										構造躯体の健全性						劣化状況評価						総合劣化度	大規模改修年度等	
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	現状劣化度			
								西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm ²)									試算上の区分(※1)
1	1152	北小学校	校舎	14	RC	3	2,155	1981	S56	39	新					長寿命	B	B	B	B	B	26	65	
2	1152	北小学校	ランチルーム	17	RC	2	536	1981	S56	39	新					長寿命	B	B	B	B	B	26	65	
3	1152	北小学校	体育館	19	SRC	2	747	1987	S62	33	新					長寿命	B	B	B	B	B	26	59	
4		北小学校	渡り廊下		S	1	25	1987	S62	33	新					長寿命	B	-	B	B	-	35	68	
5	1152	北小学校	プール機械室	13	RC	1	17	2012	H24	8	新					長寿命	-	-	-	-	-	-	(34)	
6		北小学校	プール更衣室		RC	1	23	1994	H6	26	新					長寿命	-	-	-	-	-	-	(52)	
7	1151	南小学校	北校舎棟	17	RC	3	2,259	1980	S55	40	旧	済	済	H17		長寿命	B	B	B	B	B	26	51	H17
8	1151	南小学校	南校舎棟	19	RC	2	1,666	1980	S55	40	旧	済	済	H17		長寿命	B	B	B	B	B	26	51	H17
9	1151	南小学校	昇降口棟	18	RC	2	601	1980	S55	40	旧	済	済	H17		長寿命	B	B	B	B	B	26	51	H17
10	1151	南小学校	体育館	33-1	SRC	2	880	2010	H22	10	新					長寿命	A	A	A	A	A	7	17	
11	1151	南小学校	機械室	20	RC	1	18	1980	S55	40	旧					要調査	-	-	-	-	-	-	(86)	
12	1151	南小学校	コンテナプール	21	RC	1	28	1980	S55	40	旧					要調査	-	-	-	-	-	-	(86)	
13		南小学校	渡り廊下		S	1	112	2010	H22	10	新					長寿命	A	-	A	A	-	16	26	
14	1151	南小学校	体育館北物置	34-1	W	1	33	2010	H22	10	新					改築	-	-	-	-	-	-	(36)	
15	1151	南小学校	グラウンド便所	28	S	1	37	1996	H8	24	新					長寿命	-	-	-	-	-	-	(50)	
16	1151	南小学校	プール機械室	23	S	1	21	1980	S55	40	旧					要調査	-	-	-	-	-	-	(86)	
17		南小学校	プール更衣室		RC	1	30	1982	S57	38	新					長寿命	-	-	-	-	-	-	(84)	
18	1151	南小学校	体育館便所	29	S	1	6	1996	H8	24	新					長寿命	-	-	-	-	-	-	(50)	
19	4376	中学校	校舎	41	RC	3	3,237	2005	H17	15	新					長寿命	B	B	A	A	A	19	34	
20	4376	中学校	特別教室西棟	24	RC	2	1,563	1986	S61	34	新					長寿命	C	C	B	B	B	38	72	
21	4376	中学校	特別教室東棟	25	RC	1	346	1986	S61	34	新					長寿命	B	B	B	B	B	26	60	
22	4376	中学校	体育館	35-1,35-2,35-3	SRC	2	2,063	1999	H11	21	新					長寿命	A	A	A	A	A	7	28	
23		中学校	特別教室棟渡り廊下		S	1	21	1986	S61	34	新					長寿命	B	-	B	B	-	35	69	
24		中学校	音楽室棟渡り廊下		S		88	1986	S61	34	新					長寿命	B	-	B	B	-	35	69	
25	4376	中学校	便所	32	RC	1	31	2005	H17	15	新					長寿命	-	-	-	-	-	-	(41)	
26		中学校	渡り廊下		RC	1	72	2005	H17	15	新					長寿命	-	-	-	-	-	-	(41)	
27	4376	中学校	プール更衣室	15	W	1	47	2012	H24	8	新					改築	-	-	-	-	-	-	(34)	
28	4376	中学校	プール機械室	16	W	1	11	2012	H24	8	新					改築	-	-	-	-	-	-	(34)	
29	4376	中学校	プール便所	33	S	1	11	1996	H8	24	新					長寿命	-	-	-	-	-	-	(50)	
30	4376	中学校	更衣室	42	RC	1	64	2005	H17	15	新					長寿命	-	-	-	-	-	-	(41)	
31	K038	学校給食共同調理場	学校給食共同調理場	2	S	1	732	2015	H27	5	新					長寿命	-	-	-	-	-	-	(31)	
32		村民体育館	村民体育館		RC	3	4,556	1982	S57	38	新					長寿命	B	B	B	B	B	26	64	
33		スポーツ館	スポーツ館		S	1	1,106	1997	H9	23	新					長寿命	C	C	C	C	C	46	69	

第4章 学校施設整備の基本的な方針等

1 学校施設の規模・配置計画の方針

本村の学校施設は、小学校2校、中学校1校となっており、小学校2校は、それぞれの学区のほぼ中央部、中学校1校は、村内の中央部より南側に位置しておりますが、適正な通学距離の範囲内にバランス良く配置されており、当面の間、小中学校3校は、現在の配置を維持していくこととします。

しかしながら、将来的には、全体的な人口減少及び児童生徒数の減少傾向を踏まえ、学校施設の規模や適正配置については、地域の実情に応じて、余裕教室など発生した場合、空きスペースの有効活用、他の公共施設との複合化、共用化など様々な方向の検討を行っていくものとします。

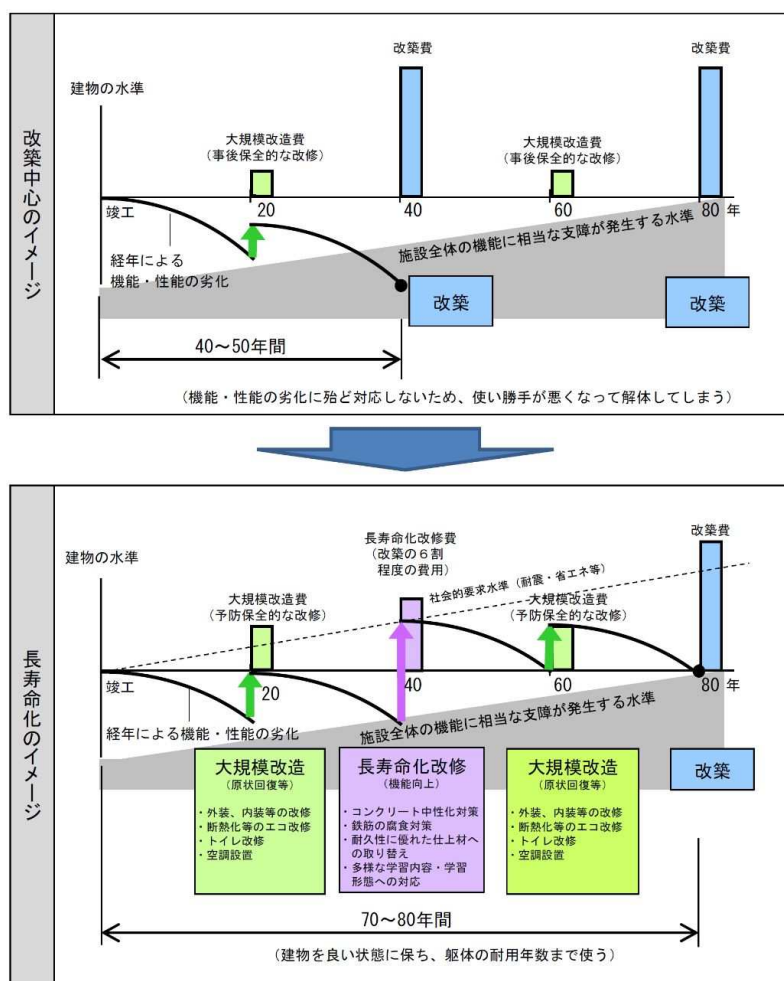
2 学校施設の長寿命化計画の基本方針

学校施設を常に健全な状態に保ち、安全・安心で快適な教育環境を維持するためには、施設の定期的な点検の実施や老朽化や機能の低下が生じる前に予防的な修繕を行うことで、従来の事後保全での整備と比較して施設を長く使用することができるため、「学校施設の長寿命化」を図る上で「計画保全」の考え方が重要になります。

学校施設整備について、改築中心もしくは事後保全の維持管理（建替え年数 40 年）から、築 20 年程度経過後に機能回復のための予防保全的な改修等、中間期（40 年など）に長寿命化改修、その後も建物の部位ごとの更新周期を勘案し、約 20 年スパンで予防保全的な改修を計画的に行うなど、計画保全による建物の長寿命化（建替え年数 80 年）に切り替え、部位改修を併用した整備を行います。

なお、長寿命化または建替え工事は、文部科学省の各種補助制度を可能な限り活用して、財政負担の軽減を図るとともに、現在から将来の学校の使われ方、総管理計画の考え方を考慮して効率的・効果的な工事を行います。

◆図表 4-1 改築中心から長寿命化への転換のイメージ



（「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」平成 27 年 4 月文部科学省）

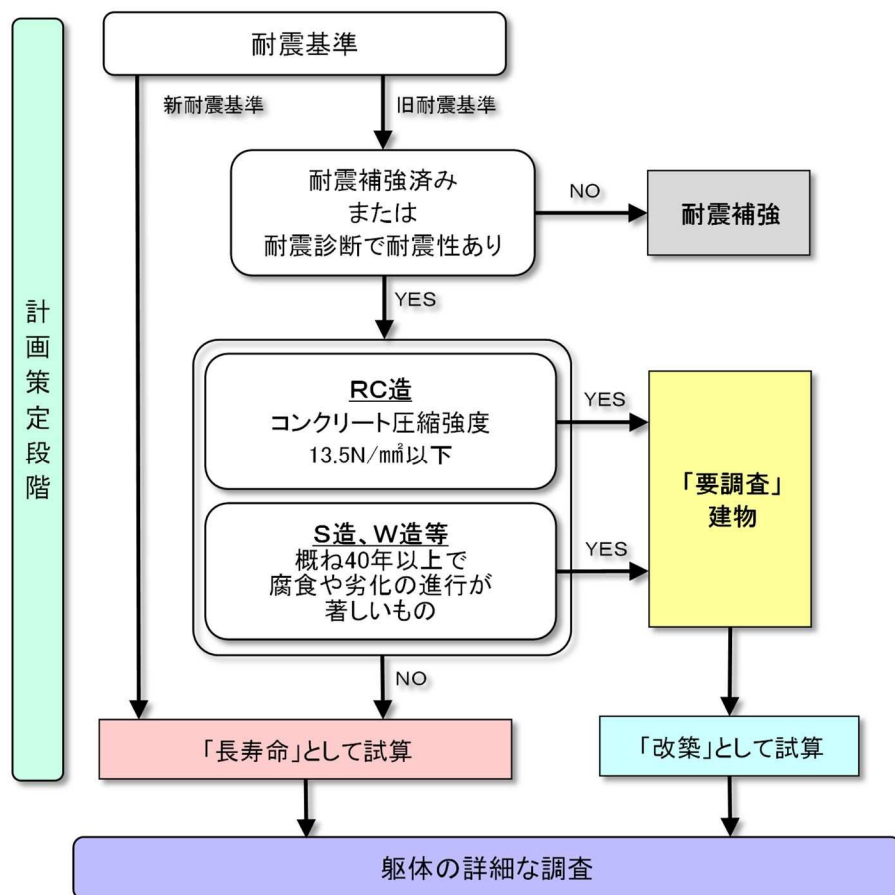
3 改修等の基本的な方針

文部科学省では、学校施設の長寿命化のメリットとして、次の3つを掲げています。

- ① 建替えと比較して構造体（柱や梁）の工事が大幅に減少するため、工事費用の縮減や工期の短縮を行うことができる。
- ② 長寿命化改修への転換により、限られた予算でより多くの施設の安全性を確保しつつ、機能の向上を図ることができ、子どもたちにとって快適で居心地の良い学習・生活の場を確保することができる。
- ③ 建替えと比べて廃棄物排出量や二酸化炭素発生量が減少し、大幅に環境負荷が低減する。

本村においても詳細診断の結果、長寿命化改修が可能な施設は長寿命化することとしますが、実際の長寿命化・建替え等の判断は、児童生徒数の将来見通し、詳細診断の結果、財政状況や各種補助制度を総合的に勘案して決定するものとします。

◆図表 4-2 長寿命化判定フロー



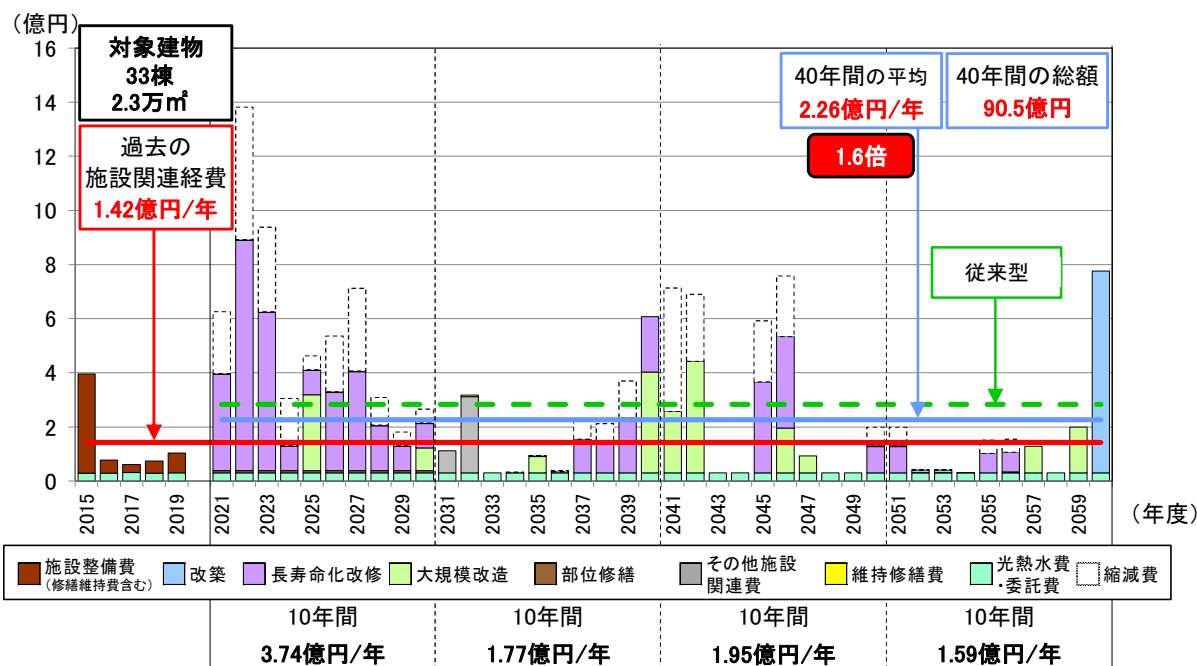
4 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

今後、学校施設等の改築による費用集中を避け、将来の費用を縮減していくため、長寿命化により築後 80 年間使用できるようにした場合、今後 40 年間の維持・更新コストは総額 90.5 億円（2.26 億円/年）となり、従来の建替え中心の場合（図表 3-10）の 113.2 億円（2.83 億円/年）より総額 22.7 億円（0.57 億円/年）、約 20%の縮減となります。

しかし、直近 5 年間の施設関連経費 1.42 億円/年を 1.6 倍上回るため、厳しい財政状況からさらに事業費を抑制する必要があります。

今後、更に最適な手法で実行可能な計画となるよう検討を行います。

◆図表 4-3 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）



コスト算出条件（長寿命化型）

基準年度：令和 2（2020）年度（試算期間：基準年の翌年度から 40 年間）

改 築：更新周期 改築、要調査 40 年 長寿命 80 年
工事期間 2 年 実施年数より古い建物の改修を 10 年以内に実施

大規模改造：実施年数 20 年周期
（ただし、改築、長寿命化改修の前後 10 年間に重なる場合は実施しない）

部 位 修 繕：D評価 今後 5 年以内に部位修繕 C評価 今後 10 年以内に部位修繕を実施
（ただし、改築、長寿命化改修、大規模改造を今後 10 年以内に実施する場合を除く）
A評価 今後 10 年以内の長寿命化改修から部位修繕相当額を差し引く

単 価 設 定：改築単価 総務省 公共施設等更新費用試算ソフト「分類別更新単価」
長寿命化改修 改築単価の 60% 大規模改造 改築単価の 25%

プ ー ル：更新周期 改築 50 年 長寿命化改修 25 年 大規模改修 12 年
改築単価 プール建設費を現在価格に換算
長寿命化改修 改築単価の 60% 大規模改修 改築単価の 25%
「その他施設関連費」に計上

5 目標耐用年数の設定

目標耐用年数は、日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」が提案する算定式や施設使用の限界年数の考え方を参考に、図表 4-4 のとおり設定します。

なお、学校施設の長寿命化計画策定に係る手引（平成 27 年 4 月文部科学省）では、「適正な維持管理がなされ、コンクリート及び鉄筋の強度が確保される場合には 70～80 年程度、さらに、技術的には 100 年以上持たせるような長寿命化も可能である。」とされています。

◆図表 4-4 構造に応じた目標耐用年数

目標耐用年数		
鉄筋コンクリート造 鉄骨・鉄筋コンクリート造	鉄骨・ブロック造	木造(小規模建物)
80年	60年	40年

◆図表 4-5 建築全体の望ましい目標耐用年数の級

用途	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造		鉄骨造			ブロック造 れんが造	木造
			重量鉄骨		軽量鉄骨		
	高品質の場合	普通品質の場合	高品質の場合	普通品質の場合			
学校・庁舎	Y。100以上	Y。60以上	Y。100以上	Y。60以上	Y。40以上	Y。60以上	Y。60以上
住宅・事務所 ・病院	Y。100以上	Y。60以上	Y。100以上	Y。60以上	Y。40以上	Y。60以上	Y。40以上
店舗・旅館 ・ホテル	Y。100以上	Y。60以上	Y。100以上	Y。60以上	Y。40以上	Y。60以上	Y。40以上
工 場	Y。40以上	Y。25以上	Y。40以上	Y。25以上	Y。25以上	Y。25以上	Y。25以上

(建築物の耐久計画に関する考え方 ((社) 日本建築学会) より)

◆図表 4-6 目標耐用年数の級の区分の例

級(Y。)	目標耐用年数		
	代表値	範囲	下限値
Y。150	150年	120～200年	120年
Y。100	100年	80～120年	80年
Y。60	60年	50～80年	50年
Y。40	40年	30～50年	30年
Y。25	25年	20～30年	20年
Y。15	15年	12～20年	12年
Y。10	10年	8～12年	8年
Y。6	6年	5～8年	5年
Y。3	3年	2～5年	2年

(建築物の耐久計画に関する考え方 ((社) 日本建築学会) より)

6 更新周期

建物を構成する主要な部位や材質に応じた耐用年数の目安があります。建築物の長寿命化を図るため、更新周期（年数）は、個別の仕様や材料により異なるため、下表に示すとおり部位に応じて一定の幅を持たせる方針とします。

緊急性や重要性等を考慮し、施設本体の長寿命化修繕改修を優先的に実施します。

また、比較的大規模な修繕工事においては、その工事と関連した部位を同時に措置することが合理的となり、修繕費用の低減を図ることが可能となります。

◆図表 4-7 改修周期と改修内容（例）

築年数	事業区分	工事内容
0 年	新築(改築)	建物の新設
20 年	大規模改造(原状回復等)	内外装・設備の更新
40～45 年	長寿命化改修(機能向上)	内外装・設備の更新 必要に応じて、躯体の改質工事
60～65 年	大規模改造(原状回復等)	内外装・設備の更新

◆図表 4-8 主な改修工事と関連部位・機器等の例

部位・設備等	主な改修工事	同時に措置した方が良い 部位・設備等の例	更新・改修 周期の目安
外 壁	仕上げ改修(塗装、吹付、タイル補修等)	シーリング、外部建具、笠木、樋、断熱材	15～30 年 仕上げ材による
	クラック補修、浮き補修	シーリング、外部建具、笠木	10～15 年
	建具改修(サッシ、カーテンウォール等)	シーリング	約 40 年
屋 根	防水改修	排水溝(ルーフトレン)、笠木、屋上手すり、設備架台、断熱材	20～30 年
電 気 設 備	受変電設備改修	分電盤、変圧機、コンデンサ、幹線	25～30 年
空 調 設 備	冷暖房設備(ファンコイル、空調機)改修	ポンプ、冷却塔、配管等、屋上防水	15～20 年
	熱源改修	配管等	15～20 年
給排水衛生設備	給排水設備改修	ポンプ、受水槽配管(冷温水管)等	15～30 年

(公共建築の部位・設備の特性等を踏まえた中長期修繕計画策定及び運用のためのマニュアル(平成 17 年 6 月)より抜粋)

※その他、ストックに対する主な工事として、耐震性能向上、環境性能向上、バリアフリー化等を目的とした改修を行う場合も想定されますが、劣化や機能停止への対処として行われる性質のものではないため、本整理の対象外としました。ただし、施設の実情等に応じて、これらの改修工事と修繕を同時に行うことも検討する必要があります。

7 今後の方向性の定義

ソフト（建物の機能）とハード（建物）の両面から、学校施設等について今後の方向性を検討し、下表のとおり整理します。

◆図表 4-9 今後の方向性の定義表

区 分	方 向 性	内 容
機能	継続	機能を現状のまま継続する
	集約	同一用途の施設を一つの建物に集める
	統合	別々の用途を有する施設を一つの建物に集める
	移転	集約・統合・建物移転により、機能を移転させる
	転用	現用途を廃止し、他用途への転用を行う
	廃止	施設（建物）の現用途の廃止を行う
	継続検討	将来の施設の整備方針を継続検討する
建物	継続	建物を現状のまま継続する
	譲渡	建物を「無償」または「有償」で民間に譲渡する
	貸付	建物を「無償」または「有償」で民間に貸付ける
	改築	建物を建替える
	集約	同一用途の施設を一つの建物に集める
	複合	別々の用途の施設を一つの建物に集める
	移転	移転して建替える
	減築	建物を改築する際に床面積を減らすこと
	取壊し	用途廃止した施設の建物を解体する
	継続検討	将来の建物の整備方針を継続検討する

第5章 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準等

1 改修等の整備水準

文部科学省は「学校施設の長寿命化計画策定の手引」において、「改修（特に長寿命化改修）の実施に当たっては、単に数十年前の建築時の状態に戻すのではなく、構造体の長寿命化やライフラインの更新等により建物の耐久性を高めるとともに、省エネルギー化や多様な学習形態による活動が可能となる環境の提供など、現代の社会的な要請に応じるための改修を行うことが重要である。」としています。

長寿命化改修において配慮すべき性能として、安心安全に学べる教育環境とし、少子高齢化や小中学校の地域としての役割（避難所、地域コミュニティの場等）を踏まえ、学校生活の場として必要な環境の確保・維持や、教育のICT化、省エネルギー化、バリアフリー、防災・防犯等の社会的要求に対応した機能付加など、ニーズや費用等を勘案しながら整備を進めていきます。

改修等の整備水準検討表を（図表 5-1）に示します。

◆図表 5-1-1 改修等の整備水準基準検討表（豊丘北小学校、豊丘南小学校）

改修案 内部改修と同時に実施し機能向上を図る改修						
部 位		改修メニュー（設備レベル）				既存の設備レベル
		高			低	
外部 仕 上	屋根・屋上	ステンレス製 屋根葺き替え	ガルバリウム鋼板製 屋根葺き替え	カラー鉄板 屋根葺き替え	屋根塗装	長尺金属葺き 折板、シート防水
	外 壁	外断熱パネル	外壁塗装 (光触媒フッ素樹脂塗材) 内断熱	外壁塗装 (防水型複層塗材)	断熱なし	コンクリート打ち出し +塗仕上げ
	外部開口部 (校 舎)	サッシ交換 (Low-e複層ガラス)	サッシ交換 (カバー・はつり工法) (複層ガラス等)	既存サッシの 強化ガラス交換		アルミサッシ スチールドア
	外部開口部 (体 育 館)	サッシ交換 (Low-e複層ガラス)	サッシ交換 (カバー・はつり工法) (複層ガラス等)	既存サッシの 強化ガラス交換		アルミサッシ スチールドア
内部 仕 上	内 部 仕 上 (教 室 等)	内装の全面撤去・更新 (木質化)	床撤去 壁・天井撤去・更新 黒板・ロッカー等更新	床補修 壁・天井塗替え 黒板更新		床：フローリング、ビニールシート 壁：塗装 天井：ボード張
	ト イ レ	内装の全面撤去・更新 ドライ化 洗浄機能付き便座	内装の全面撤去・更新 洗浄機能付き便座 (一部)	床補修 壁・天井塗替え 洋式化		ビニールシート張(ドライ) タイル張(ウェット) 和式・洋式
省 エ ネ 化	電 気 設 備	LED照明に交換 (人感センサー、照度センサー付き)	LED照明に交換	蛍光灯(Hf)照明更新		LED照明・蛍光灯
	給排水衛生 設 備	節水型便器 小便器(センサー)	節水型便器			一般便器
	空 調 設 備	ヒートポンプ式 マルチエアコン 全熱交換器 (CO2センサー付)	中央方式 全熱交換器	エアコン 換気扇	FF式ヒーター	FF式ヒーター 煙突式石油ストーブ エアコン・扇風機
バ リ ア プ リ ー	建 築	スロープ・手すり	案内板・カウンター	誘導ブロック	車椅子対応駐車場	スロープ
	ト イ レ	多目的トイレ	車椅子用トイレ	校庭開放用		車椅子用トイレ
	昇 降 機	車いす対応 エレベーター	乗用エレベーター			あり
防 災 ・ 防 犯	建 築	非構造部の耐震化	構造部の耐震化			構造部の耐震化 体育館つり天井落下防止
	自家発電設 備	非常用自動発電設備	発電機(ポータブル)			なし
	インターホン	モニター付き	管理室・教室			なし
	防 犯 カ メ ラ	防犯カメラ	防犯カメラ(正面玄関)			あり
	防 災 設 備	災害時飲料用 受水槽ステンレス製	災害時飲料用 受水槽FRP製			なし

◆図表 5-1-2 改修等の整備水準基準検討表（豊丘中学校）

改修案 内部改修と同時に実施し機能向上を図る改修						
部 位		改修メニュー（設備レベル）				既存の設備レベル
		高			低	
外部 仕 上	屋 根 ・ 屋 上	ステンレス製 屋根葺き替え	ガルバリウム鋼板製 屋根葺き替え	カラー鉄板 屋根葺き替え	屋根塗装	長尺金属葺き
	外 壁	外断熱パネル	外壁塗装 (光触媒フッ素樹脂塗材)	外壁塗装 (防水型複層塗材)	外壁塗装 (防水型複層塗材)	コンクリート打ち放し +塗仕上げ
	外部開口部 (校 舎)	サッシ交換 (Low-e複層ガラス)	サッシ交換 (カバー・はつり工法) (複層ガラス等)	既存サッシの 強化ガラス交換	既存サッシの 強化ガラス交換	アルミサッシ スチールドア
	外部開口部 (体 育 館)	サッシ交換 (Low-e複層ガラス)	サッシ交換 (カバー・はつり工法) (複層ガラス等)	既存サッシの 強化ガラス交換	既存サッシの 強化ガラス交換	アルミサッシ スチールドア
内部 仕 上	内 部 仕 上 (教 室 等)	内装の全面撤去・更新 (木質化)	床撤去 壁・天井撤去・更新 黒板・ロッカー等更新	床補修 壁・天井塗替え 黒板更新	床補修 壁・天井塗替え 黒板更新	床：フローリング、ビニルシート 壁：塗装、板張 天井：ボード張
	ト イ レ	内装の全面撤去・更新 ドライ化 洗浄機能付き便座	内装の全面撤去・更新 洗浄機能付き便座 (一部)	床補修 壁・天井塗替え 洋式化	床補修 壁・天井塗替え 洋式化	ビニルシート張(ドライ) タイル張(ウェット) 和式・洋式
省 エ ネ 化	電 気 設 備	LED照明に交換 (人感センサー、照度センサー付き)	LED照明に交換	蛍光灯(Hf)照明更新	LED照明に交換	蛍光灯
	給排水衛生 設 備	節水型便器 小便器(センサー)	節水型便器		節水型便器	一般便器
	空 調 設 備	ヒートポンプ式 マルチエアコン 全熱交換器 (CO2センサー付)	中央方式 全熱交換器	エアコン 換気扇	FF式ヒーター FF式ヒーター エアコン・扇風機	FF式ヒーター エアコン・扇風機
バ リ ア フ リ ー	建 築	スロープ・手すり	案内板・カウンター	誘導ブロック	車椅子対応駐車場	スロープ・一部手すり 車椅子対応駐車場
	ト イ レ	多目的トイレ	車椅子用トイレ	校庭開放用	車椅子用トイレ	車椅子用トイレ 校庭開放用
	昇 降 機	車いす対応 エレベーター	乗用エレベーター		あり	あり
防 災 ・ 防 犯	建 築	非構造部の耐震化	構造部の耐震化		体育館つり天井落下防止	体育館つり天井落下防止
	自家発電設 備	非常用自動発電設備	発電機(ポータブル)		なし	なし
	インターホン	モニター付き	管理室・教室		あり	あり
	防 犯 カ メ ラ	防犯カメラ	防犯カメラ(正面玄関)		あり	あり
	防 災 設 備	災害時飲料用 受水槽ステンレス製	災害時飲料用 受水槽FRP製		なし	なし

2 維持管理の項目・手法等

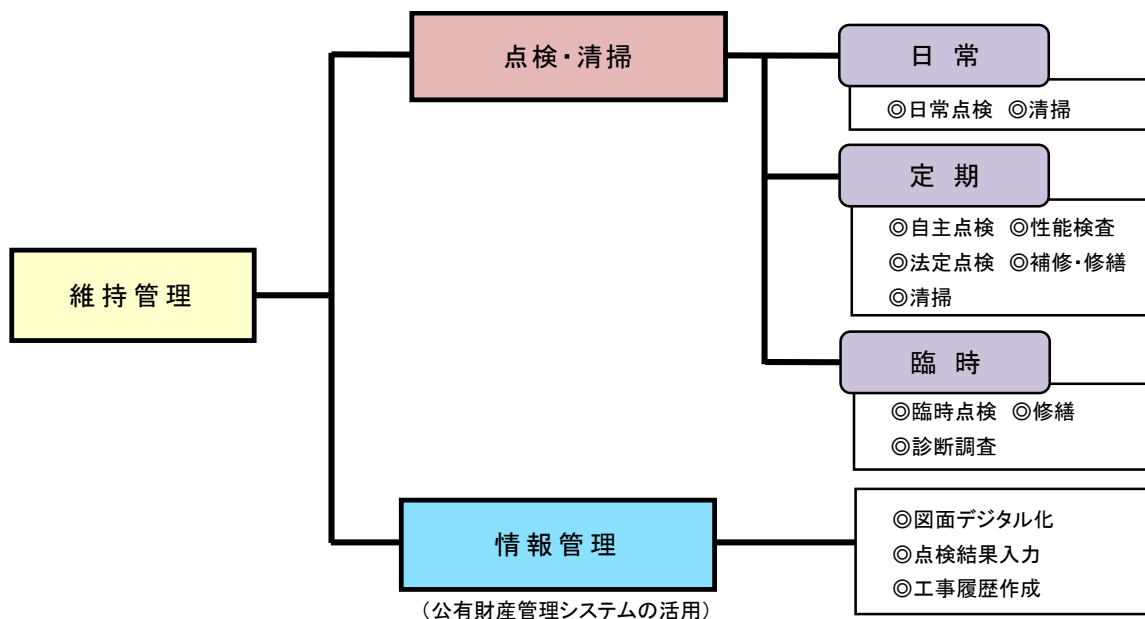
長寿命化を図るためには、定期的に改修工事を行うだけでなく、日常的、定期的に施設の点検や清掃、情報管理を行う必要があります。

日常的、定期的に維持管理を行うことで、建物の劣化状況を詳細に把握でき、より早急に異常に気付くことができるため、施設に応じた維持、改修内容や時期を計画に反映することができま

◆図表 5-2 維持管理の項目・手法例

維持管理分類	項目	内 容	頻 度	主 な 担 当 者
日常的な点検	日常点検	機器及び設備について、異常の有無、兆候を発見する。	毎日	学校、施設管理者
清 掃	清 掃	快適な環境を維持しながら建物の仕上材や機器の寿命を延ばすため、塵や汚れを除去する。	各点検に合わせて随時実施	学校、施設管理者 専門業者
定期的な点検	自主点検	機器及び設備の破損、腐食状況を把握し、修理・修繕等の保全計画を立てる。	1 週、1 ヶ月 半年、1 年等 周期を設定	学校、施設管理者 教育委員会
	法定点検	自主点検では確認できない箇所や、法的に定められた箇所に関して、専門業者により点検する。		専門業者
臨時的な点検	臨時点検	日常、定期点検以外に行う臨時点検。	故障警報、気象情報等により、随時実施	学校、施設管理者 教育委員会、 専門業者
情報管理	図面デジタル化	学校施設等の図面をデジタル化・管理し、点検や現状把握の際に活用する。	随時	教育委員会
	点検結果入力	点検・工事の履歴を作成し、各学校施設等の現状把握や計画への反映に活用する。	各点検に合わせて随時実施	教育委員会
	工事履歴作成		改修・修繕後に実施	教育委員会

◆図表 5-3 維持管理の項目



第6章 長寿命化の実施計画

1 長寿命化の実施計画（中・長期計画）について

中・長期計画は、学校等の実状と課題を踏まえ、長寿命化、改修等における基本方針をもとに今後の対策の方向性や改修・改築の時期、及び事業費を年度計画に落とし込んだものです。

学校施設等の老朽化、児童生徒数の減少・少子高齢化による厳しい財政状況などにより、現状のまま維持していくことは困難な状況です。

本当に必要か、持続可能かを長期的な視点をもって見直すことにより、児童生徒及び職員に安全安心で質の高い教育環境を提供するとともに、持続可能な財政運営を目指していきます。

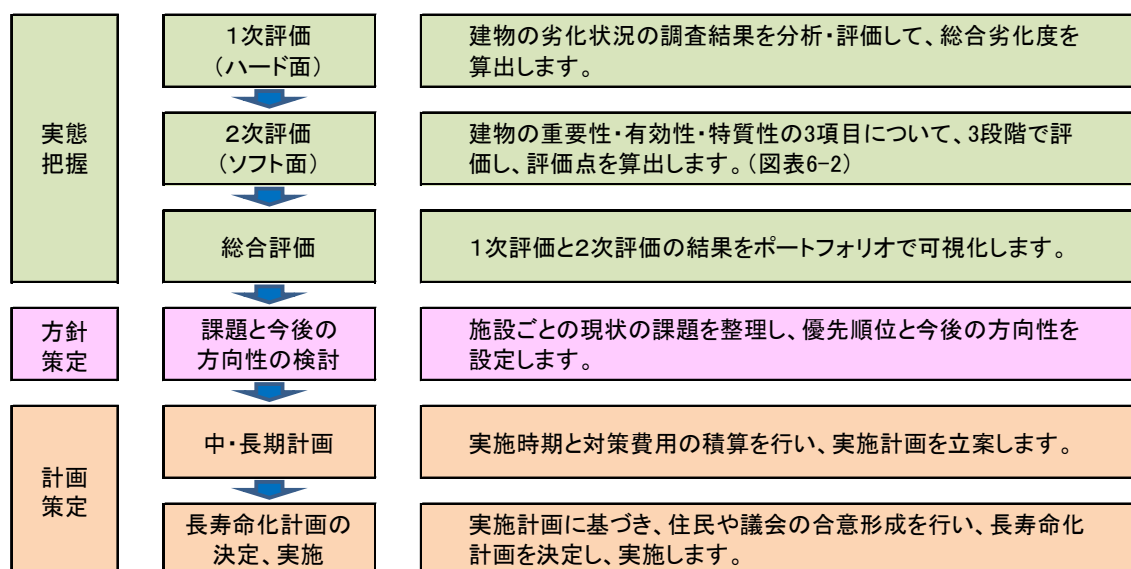
2 優先順位の考え方

図表 6-1 のフローにより優先順位を検討しますが、主な視点は次のとおりです。

- ① 安全性……緊急性、耐震性、長寿命化、障害の排除
- ② 機能性……原状回復、防災・防犯、省エネ
- ③ 経済性……ライフサイクルコストの低減
- ④ 代替性……他に代替がないもの
- ⑤ 社会性……社会的ニーズ

(洋式トイレ、LED、空調、ユニバーサルデザインなど)

◆図表 6-1 優先順位判断と計画策定フロー



◆図表 6-2 2次評価（ソフト面）の評価方法

2次評価は、重要性、有効性、特質性の3つの区分において、各評価項目に該当する項目の数によって、「3」、「2」、「1」の3段階で評価します。 各区分には、重みづけの係数を設定し、評価点と係数を乗じたものを合計して評価点を算出します。					
区分	評価	係数	評価項目		
重要性	3：該当項目4～5 2：該当項目2～3 1：該当項目0～1	1.00	1	法律等により設置が義務付けられている。	
			2	この施設が存在しなければ、多くの住民の日常生活に支障が出る。	
			3	施策を実現する上で必要不可欠な施設である。	
			4	設置目的の社会的要請が、設置当時と同様にある（ほとんど低下していない）。	
			5	避難所に指定されている等、災害時に必要な施設である。	
有効性	3：該当項目4～5 2：該当項目2～3 1：該当項目0～1	0.75	6	設置目的と現在の利用形態が合致している。	
			7	施設設置当時から、稼働率・利用者が50%以上減少していない。	
			8	収入が減少傾向にない。（収入のない施設は非該当）	
			9	投票所等にも幅広く活用可能で汎用性の高い施設。	
特質性	3：該当項目4～6 2：該当項目2～3 1：該当項目0～1	0.50	10	公共性が高い（一部の個人・団体が使っているのではない）。	
			11	建物自体に歴史的、文化的、象徴的価値がある。	
			12	他の建物で代替えができない（他の建物では設置目的が達成できない）。	
			13	近隣の自治体との広域的な連携ができない。	
			14	浸水想定区域・土砂災害警戒区域内には設置されていない。	
			15	施設整備に関し、国県補助金、記載の償還などの制約がある。	
			16	多くの住民から設置継続を要望されている。	

区分の重みづけ係数					
重要性	1.00	有効性	0.75	特質性	0.50

2次評価点＝総和（各区分の評価点×重みづけの係数）

3 施設類型別の個別施設計画表

施設類型別の個別施設計画表の記載内容について説明します。

① 基礎調査表

建物の基本情報と利用状況等の現状、劣化調査結果（1次評価）とソフト面の評価（2次評価）の結果を、建物ごとに整理しています。

② 総合評価

1次評価と2次評価の点数により、ポートフォリオで表したものです。

1次評価点、2次評価点がともに高い建物は、最も優先順位が高いと判断します。

③ 中・長期計画

建物ごとの残存耐用年数、直近の実施計画、適正配置の検討結果、長寿命化する建物は、20年周期の改修時期、費用を推計しています。

なお、事業費をすでに個別に算出している場合は、その事業費を費用計上します。

費用の推計には、文部科学省提供の「エクセルソフト」を使用し、今後、同種、同規模で更新した場合の必要コストを試算しています。

◆図表 6-3 施設類型別改修・更新単価表

施設類型別	建 替 え	長寿命化改修	大規模改造
学校教育系施設	33 万円/㎡	19.8 万円/㎡	8.25 万円/㎡
スポーツ・レクリエーション系施設	36 万円/㎡	21.6 万円/㎡	9.00 万円/㎡

④ 主な課題と今後の方向性

・主な課題

1次評価、2次評価の結果、配置及び現段階で把握している現状の課題を建物ごとに記載しています。

・今後の方向性

学校施設整備の基本方針を踏まえた当該施設の今後の方向性、若しくは適正配置の方向性の検討結果を記載しています。

今後、この計画をもとに住民や議会での合意形成を図りながら実施していくことになります。具体的な実施計画があるものについては、その旨を記載しています。

なお、この計画は、児童生徒数の変化、社会経済情勢、国の補助制度などの動向により、柔軟に見直すこととします。

4 各施設別の実施計画

施設ごとに計画を行います。

- (1) 学校教育系施設①（豊丘北小学校）
- (2) 学校教育系施設②（豊丘南小学校）
- (3) 学校教育系施設③（豊丘中学校 学校給食共同調理場）
- (4) スポーツ・レクリエーション施設（村民体育館 スポーツ館）

(1) 学校教育系施設①

豊丘北小学校

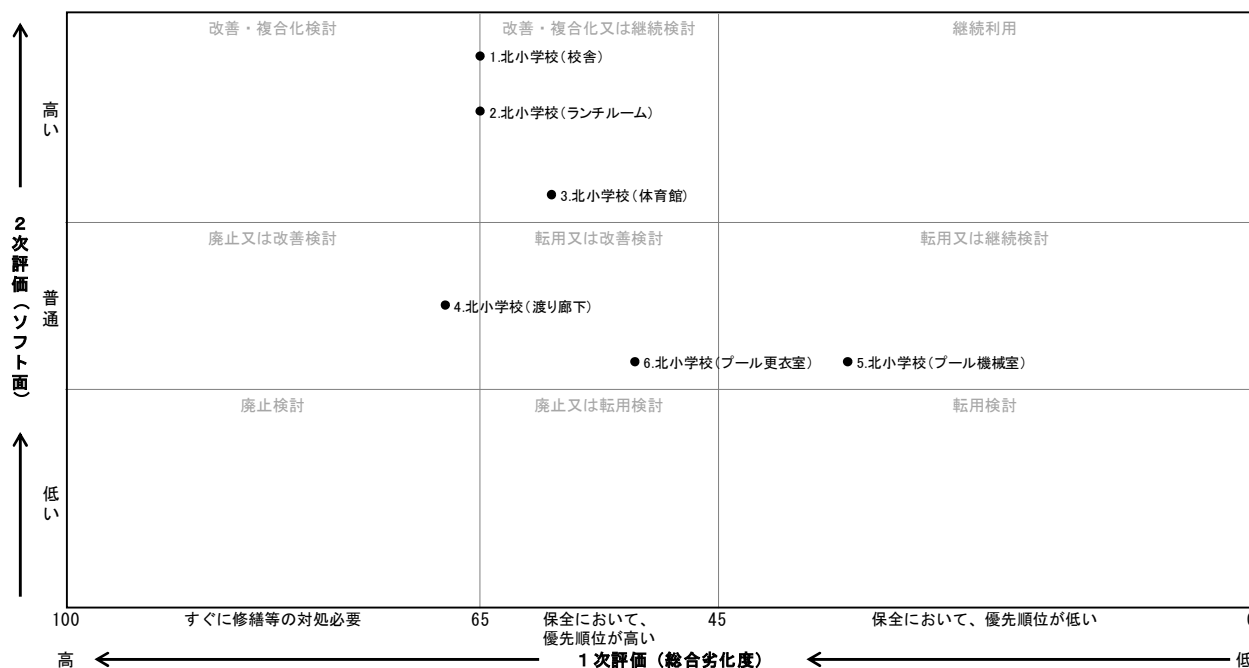
①基礎調査表

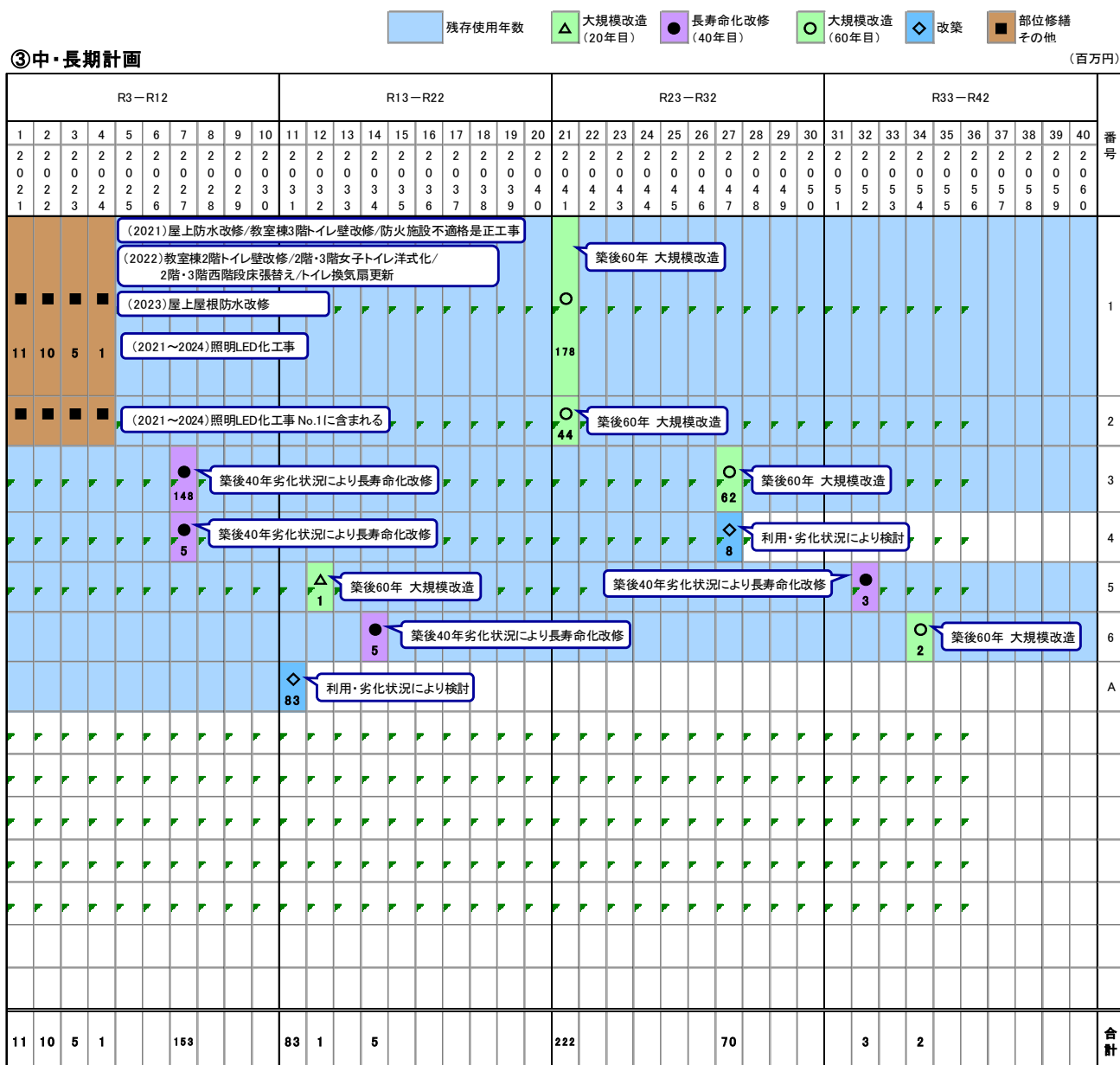
2次評価における重みづけ係数					
重要性	1.00	有効性	0.75	特質性	0.50

[illegible]

※1 長壽命:長壽命化改修対象 要調査:耐震診断・耐震補強対象 改築:建替え対象

②総合評価





④主な課題と今後の方向性

[illegible]

(2) 学校教育系施設②

豊丘南小学校

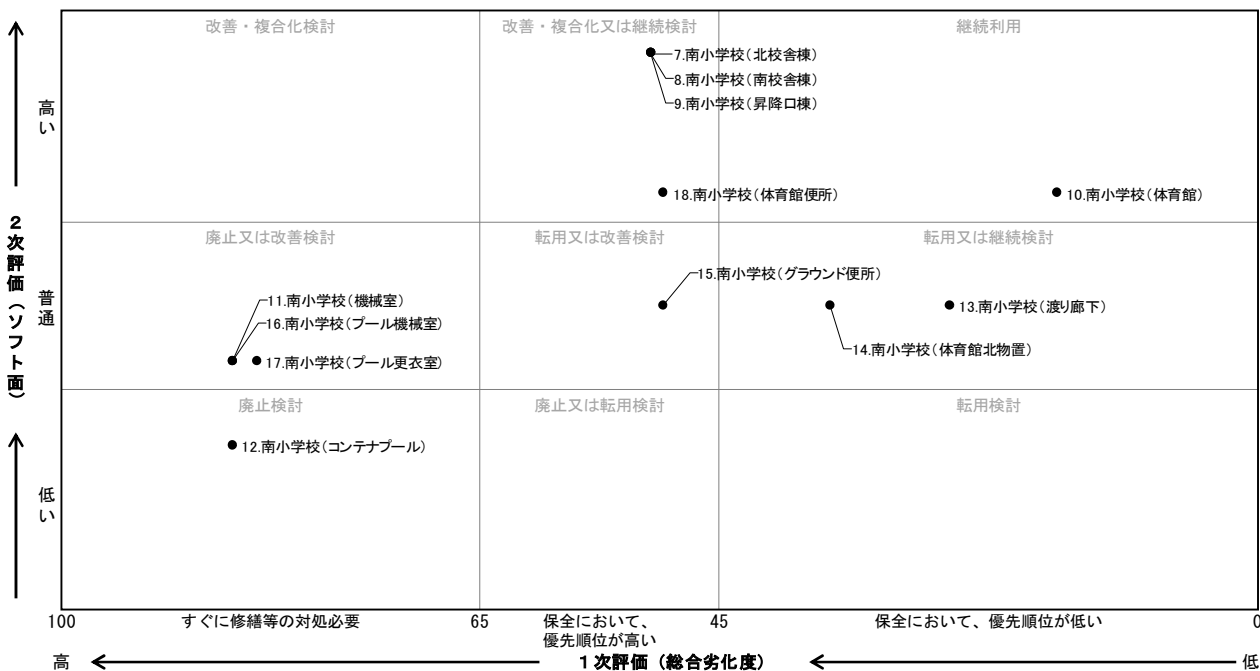
2次評価における重みづけ係数					
重要性	1.00	有効性	0.75	特質性	0.50

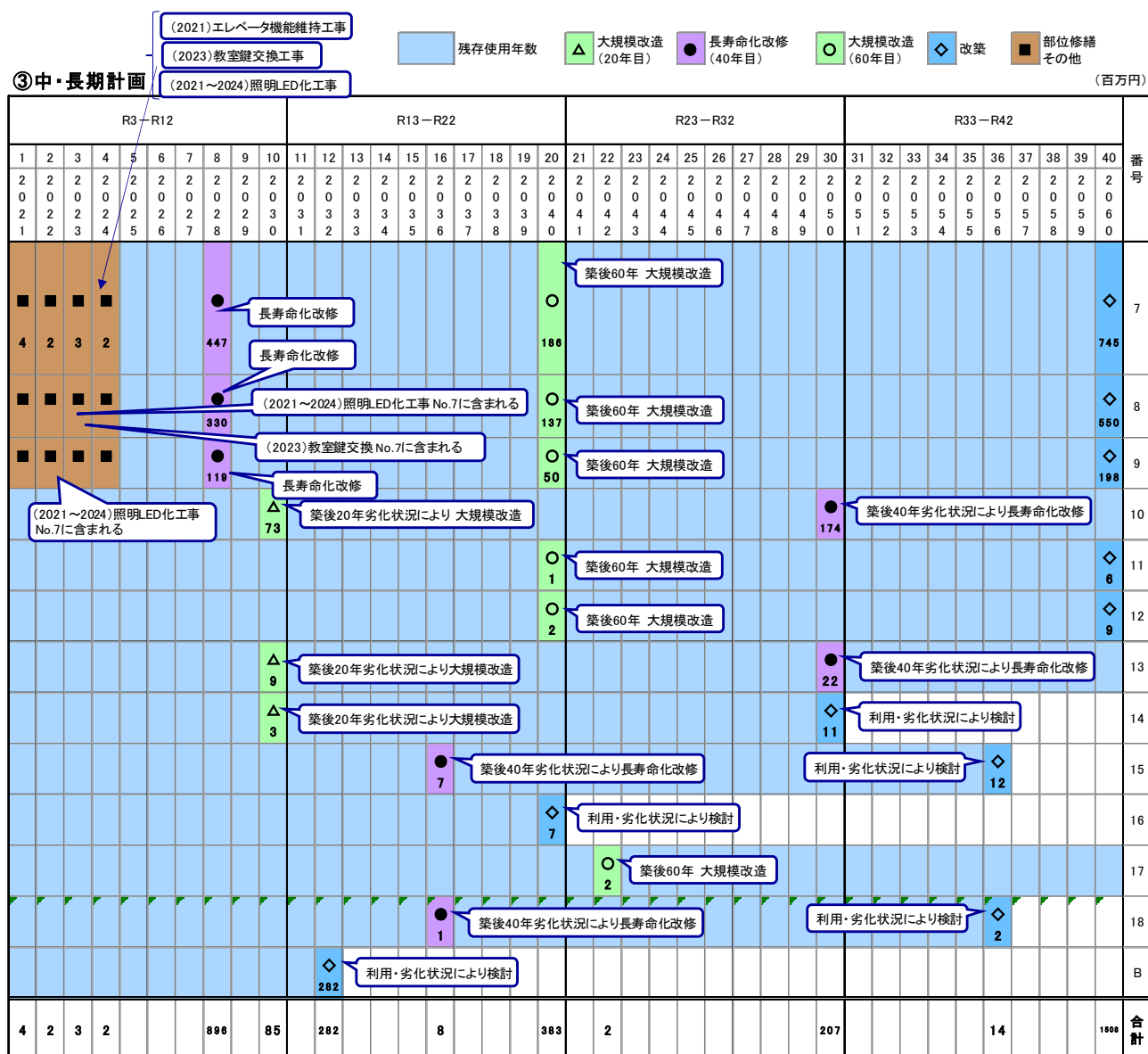
①基礎調査表

建 物 基 本 情 報										現 状										
番号	施設名	建物名	棟 番 号	所在地	所管課	中分類	構 造	延床 面積 (㎡)	建 築 年 度	築 年 数	管理 形態	設置目的、 機能、役割	避 難 所 指 定	ソフト面の評価 (2次評価)				施設整備状況	劣化調査結果 (1次評価)	
														重 要 性	有 効 性	特 質 性	評 価		試算上の 区分 (※1)	躯体以外 の総合 劣化度
7	南小学校	北校舎棟	17	神稲 3600-1	教育委員会	学校	RC	2,259.00	S55 (1980)	40	直営	北校舎棟	無	3	3	3	6.75	R3 エレベータ機能維持工事 R元 エアコン設置工事、教室用LED交換工事、資料室改修工事 H29 灯油タンク工事 H28 防火設備法令不適合改修工事、 変電設備改修工事 H17 耐震補強	長寿命	51
8	南小学校	南校舎棟	19	神稲 3600-1	教育委員会	学校	RC	1,666.00	S55 (1980)	40	直営	南校舎棟	無	3	3	3	6.75	R元 エアコン設置工事／H30 LED照明 取替工事／H28 防火設備法令不適合 改修工事／3階教室床修繕工事／H17 耐震補強	長寿命	51
9	南小学校	昇降口棟	18	神稲 3600-1	教育委員会	学校	RC	601.00	S55 (1980)	40	直営	昇降口棟	無	3	3	3	6.75	H28 防火設備法令不適合改修工事 H17 耐震補強	長寿命	51
10	南小学校	体育館	33-1	神稲 3600-1	教育委員会	学校	SRC	880.00	H22 (2010)	10	直営	体育館	有	3	2	2	5.50		長寿命	17
11	南小学校	機械室	20	神稲 3600-1	教育委員会	学校	RC	18.00	S55 (1980)	40	直営	機械室	無	2	2	1	4.00		要調査	(86)
12	南小学校	コンテナプール	21	神稲 3600-1	教育委員会	学校	RC	28.00	S55 (1980)	40	直営	コンテナプール	無	2	1	1	3.25		要調査	(86)
13	南小学校	渡り廊下		神稲 3600-1	教育委員会	学校	S	112.00	H22 (2010)	10	直営	渡り廊下	無	2	2	2	4.50	H29 渡り廊下改修工事	長寿命	26
14	南小学校	体育館北物置	34-1	神稲 3600-1	教育委員会	学校	W	33.00	H22 (2010)	10	直営	体育館北物置	無	2	2	2	4.50	H27 倉庫移転工事	改築	(36)
15	南小学校	グラウンド便所	28	神稲 3600-1	教育委員会	学校	S	37.00	H8 (1996)	24	直営	グラウンド便所	無	2	2	2	4.50	H27 トイレ配管修理工事	長寿命	(50)
16	南小学校	プール機械室	23	神稲 3600-1	教育委員会	学校	S	21.00	S55 (1980)	40	直営	プール機械室	無	2	2	1	4.00	R元 屋根改修工事 H30 屋根修繕工事	要調査	(86)
17	南小学校	プール更衣室		神稲 3600-1	教育委員会	学校	RC	30.00	S57 (1982)	38	直営	プール更衣室	無	2	2	1	4.00		長寿命	(84)
18	南小学校	体育館便所	29	神稲 3600-1	教育委員会	学校	S	6.00	H8 (1996)	24	直営	体育館便所	無	3	2	2	5.50		長寿命	(50)
B	南小学校	プール		神稲 3600-1	教育委員会	学校	-	50M×15M 15M×7M	S57 (1982)	38	直営	プール								

※1 長寿命:長寿命化改修対象 要調査:耐震診断・耐震補強対象 改築:建替え対象

②総合評価





④主な課題と今後の方向性

番号	施設名	建物名	主な課題	対策の方向性	今後の方向性	
					機能	建物
7	南小学校	北校舎棟	経年劣化の進行	計画的な維持管理を行う。	継続	継続
8	南小学校	南校舎棟	経年劣化の進行	計画的な維持管理を行う。	継続	継続
9	南小学校	昇降口棟	経年劣化の進行	計画的な維持管理を行う。	継続	継続
10	南小学校	体育館	経年劣化の進行	計画的な維持管理を行う。	継続	継続
11	南小学校	機械室	経年劣化の進行	利用・劣化面から改築の検討を行う。	継続検討	継続検討
12	南小学校	コンテナプール	経年劣化の進行、利用度は少ない	利用・劣化面から改築の検討を行う。	継続検討	継続検討
13	南小学校	渡り廊下	経年劣化の進行	計画的な維持管理を行う。	継続	継続
14	南小学校	体育館北物置	経年劣化の進行	計画的な維持管理を行う。	継続	継続
15	南小学校	グラウンド便所	経年劣化の進行	計画的な維持管理を行う。	継続	継続
16	南小学校	プール機械室	経年劣化の進行	プール改築の結果により	継続検討	継続検討
17	南小学校	プール更衣室	経年劣化の進行	プール改築の結果により	継続検討	継続検討
18	南小学校	体育館便所	経年劣化の進行	計画的な維持管理を行う。	継続	継続
B	南小学校	プール	経年劣化の進行、施設の更新	利用・劣化面から改築の検討を行う。	継続検討	継続検討

(3) 学校教育系施設③

豊丘中学校 学校給食共同調理場

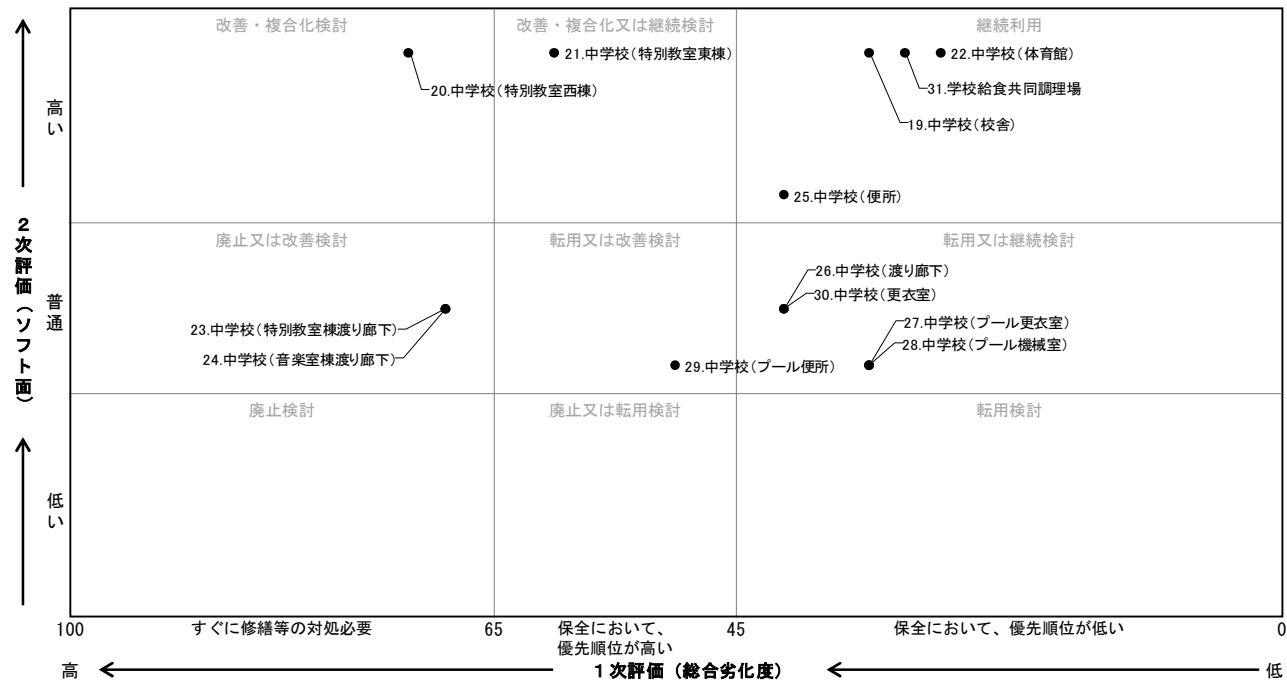
2次評価における重みづけ係数					
重要性	1.00	有効性	0.75	特質性	0.50

①基礎調査表

建 物 基 本 情 報											現 状									
番号	施設名	建物名	棟 番 号	所在地	所管課	中分類	構 造	延床 面積 (㎡)	建 築 年 度	築 年 数	管理 形 態	設置目的、 機能、役割	避難 所 指 定	ソフト面の評価 (2次評価)				施設整備状況	劣化調査結果 (1次評価)	
														重 要 性	有 効 性	特 質 性	評 価		試算上の 区分 (※1)	躯体以外 の総合 劣化度
19	中学校	校舎	41	神稲 4020	教育委員会	学校	RC	3,237.00	H17 (2005)	15	直 営	校舎	無	3	3	3	6.75	R元・H30 エアコン設置工事／H30 昇 降機能維持修理工事／H28 校内放 送設備更新工事、電話設備更新工事	長寿命	34
20	中学校	特別教室西棟	24	神稲 4020	教育委員会	学校	RC	1,563.00	S61 (1986)	34	直 営	特別教室西棟	無	3	3	3	6.75	H29 ガラスフィルム工事	長寿命	72
21	中学校	特別教室東棟	25	神稲 4020	教育委員会	学校	RC	346.00	S61 (1986)	34	直 営	特別教室東棟	無	3	3	3	6.75		長寿命	60
22	中学校	体育館	35- 1,35- 2,35-3	神稲 4020	教育委員会	学校	SRC	2,063.00	H11 (1999)	21	直 営	体育館	有	3	3	3	6.75	H27 吊天井落下防止対策工 事、外壁パネル塗装工事、内装 補修工事	長寿命	28
23	中学校	特別教室棟 渡り廊下		神稲 4020	教育委員会	学校	S	21.00	S61 (1986)	34	直 営	特別教室棟渡り 廊下	無	2	2	2	4.50		長寿命	69
24	中学校	音楽室棟渡 り廊下		神稲 4020	教育委員会	学校	S	88.00	S61 (1986)	34	直 営	音楽室棟渡り廊 下	無	2	2	2	4.50		長寿命	69
25	中学校	便所	32	神稲 4020	教育委員会	学校	RC	31.00	H17 (2005)	15	直 営	便所	無	3	2	2	5.50		長寿命	(41)
26	中学校	渡り廊下		神稲 4020	教育委員会	学校	RC	72.00	H17 (2005)	15	直 営	渡り廊下	無	2	2	2	4.50		長寿命	(41)
27	中学校	プール更衣 室	15	神稲 4020	教育委員会	学校	W	46.91	H24 (2012)	8	直 営	プール更衣室	無	2	2	1	4.00		改築	(34)
28	中学校	プール機械 室	16	神稲 4020	教育委員会	学校	W	11.04	H24 (2012)	8	直 営	プール機械室	無	2	2	1	4.00		改築	(34)
29	中学校	プール便所	33	神稲 4020	教育委員会	学校	S	11.00	H8 (1996)	24	直 営	プール便所	無	2	2	1	4.00		長寿命	(50)
30	中学校	更衣室	42	神稲 4020	教育委員会	学校	RC	64.00	H17 (2005)	15	直 営	更衣室	無	2	2	2	4.50		長寿命	(41)
C	中学校	プール		神稲 4020	教育委員会	学校	-	25M×15M	S39 (1964)	56	直 営	プール								
31	学校給食共 同調理場	学校給食共 同調理場	2	神稲 3600-1	教育委員会	その他教 育施設	S	732.37	H27 (2015)	5	直 営	学校給食共同調 理場	無	3	3	3	6.75	H30 ダクト改修工事 H27 建設工事	長寿命	(31)

※1 長寿命:長寿命化改修対象 要調査:耐震診断・耐震補強対象 改築:建替え対象

②総合評価



③中・長期計画

(百万円)

③中・長期計画																																								(百万円)		
R3－R12										R13－R22										R23－R32										R33－R42												
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	番号		
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	19		
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20		
2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	21		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0			
エレベータ機能維持工事	■	■	■	△																●																				19		
	3			267																					●																20	
	■	■	■	■	●																				○																21	
	■	■	■	■	●																				○																22	
					69															●																					23	
	No.19,20,21 (2022～2025) 照明器具LED化工事 No.20の金額に含まれる																				●																				24	
					4																				◇																25	
					●																				◇																26	
					17																				◇																27	
				△																					●																28	
				3																					●																29	
				△																					●																30	
				6																					●																31	

④主な課題と今後の方向性

番号	施設名	建物名	主な課題	対策の方向性	今後の方向性	
					機能	建物
19	中学校	校舎	経年劣化の進行	計画的な維持管理を行う。	継続	継続
20	中学校	特別教室西棟	経年劣化の進行	計画的な維持管理を行う。	継続	継続
21	中学校	特別教室東棟	経年劣化の進行	計画的な維持管理を行う。	継続	継続
22	中学校	体育館	経年劣化の進行	計画的な維持管理を行う。	継続	継続
23	中学校	特別教室棟渡り廊下	経年劣化の進行	計画的な維持管理を行う。	継続	継続
24	中学校	音楽室棟渡り廊下	経年劣化の進行	計画的な維持管理を行う。	継続	継続
25	中学校	便所	経年劣化の進行	計画的な維持管理を行う。	継続	継続
26	中学校	渡り廊下	経年劣化の進行	計画的な維持管理を行う。	継続	継続
27	中学校	プール更衣室	経年劣化の進行	プール改築の結果により	継続検討	継続検討
28	中学校	プール機械室	経年劣化の進行	プール改築の結果により	継続検討	継続検討
29	中学校	プール便所	経年劣化の進行	プール改築の結果により	継続検討	継続検討
30	中学校	更衣室	経年劣化の進行	計画的な維持管理を行う。	継続	継続
C	中学校	プール	経年劣化の進行,施設の更新	利用・劣化面から改築の検討を行う。	継続検討	継続検討
31	学校給食共同調理場	学校給食共同調理場	H27年に新築	計画的な維持管理を行う。	継続	継続

村民体育館 スポーツ館

[illegible]

②総合評価



③中・長期計画

(百万円)

[illegible]

④主な課題と今後の方向性

[illegible]

5 今後の維持・更新コスト（中・長期計画）

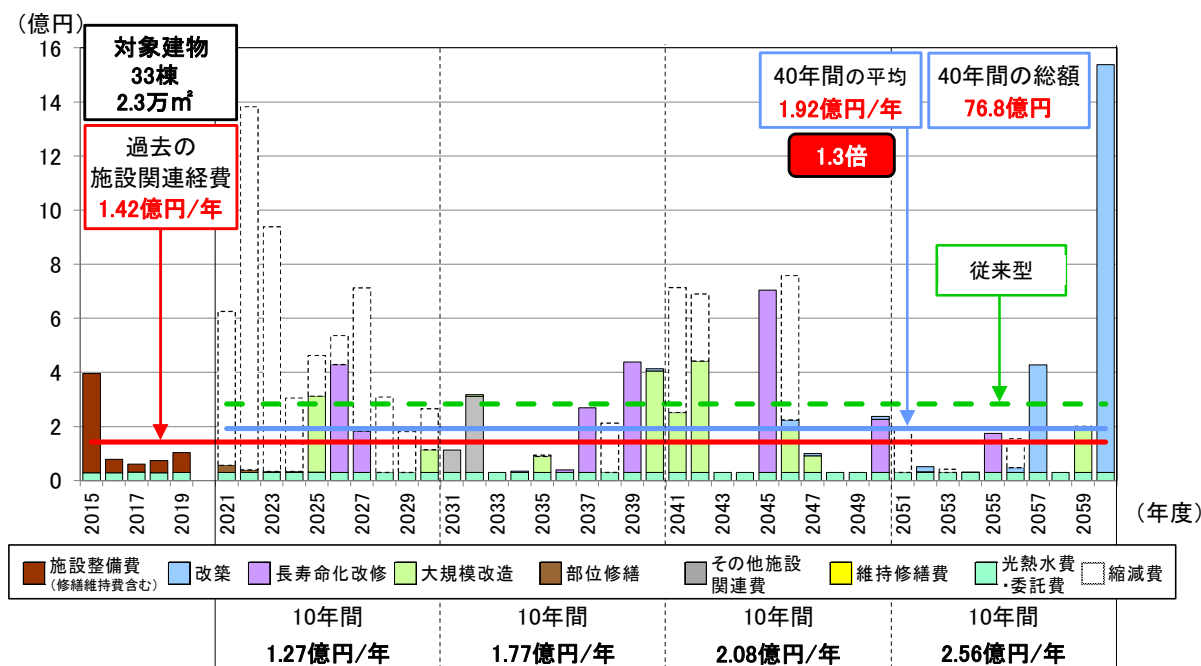
中・長期計画における、今後 40 年間の維持・更新コストは総額約 76.8 億円（1.92 億円/年）となり、従来の建替え中心の場合（図表 3-10）の 113.2 億円（2.83 億円/年）より総額 36.4 億円（0.91 億円/年）、約 32%の縮減となりますが、直近 5 年間の施設関連経費 1.42 億円/年の、1.3 倍のコストがかかると試算されます。

また、長寿命化型での試算（図表 4-3）総額 90.5 億円（2.26 億円/年）より総額 13.7 億円（0.34 億円/年）約 15%の縮減となりました。

これは長寿命化をして施設の維持保全を行うことを想定した計画であり、財政状況や社会情勢、修繕の緊急度等を総合的に判断して柔軟に対応していく必要があります。

今後、適切な時期に適切な維持管理、修繕を行うことにより、建物や設備の寿命を延ばし、ライフサイクルコストの低減に繋がっていきます。

◆図表 6-4 今後の維持・更新コスト（中・長期計画）



コスト算出条件（中・長期計画）

・物価変動率は考慮しない。

基準年度: 令和 2(2020)年度 (試算期間: 基準年の翌年度から 40 年間)

改 築: 更新周期 W, LGS 造: 40 年 S, CB 造: 60 年 RC, SRC 造: 80 年

大規模改造: 実施年数 20 年周期

単 価 設 定: 図表 6-3 施設類型別改修・更新単価表

改築単価 総務省 公共施設等更新費用試算ソフト「分類別更新単価」

長寿命化改修 改築単価の 60% 大規模改造 改築単価の 25%

プ ー ル: 更新周期 改築 50 年 長寿命化改修 25 年 大規模改修 12 年

改築単価 プール建設費を現在価格に換算

長寿命化改修 改築単価の 60% 大規模改修 改築単価の 25%

「その他施設関連費」に計上

第7章 長寿命化計画の継続的運用方針

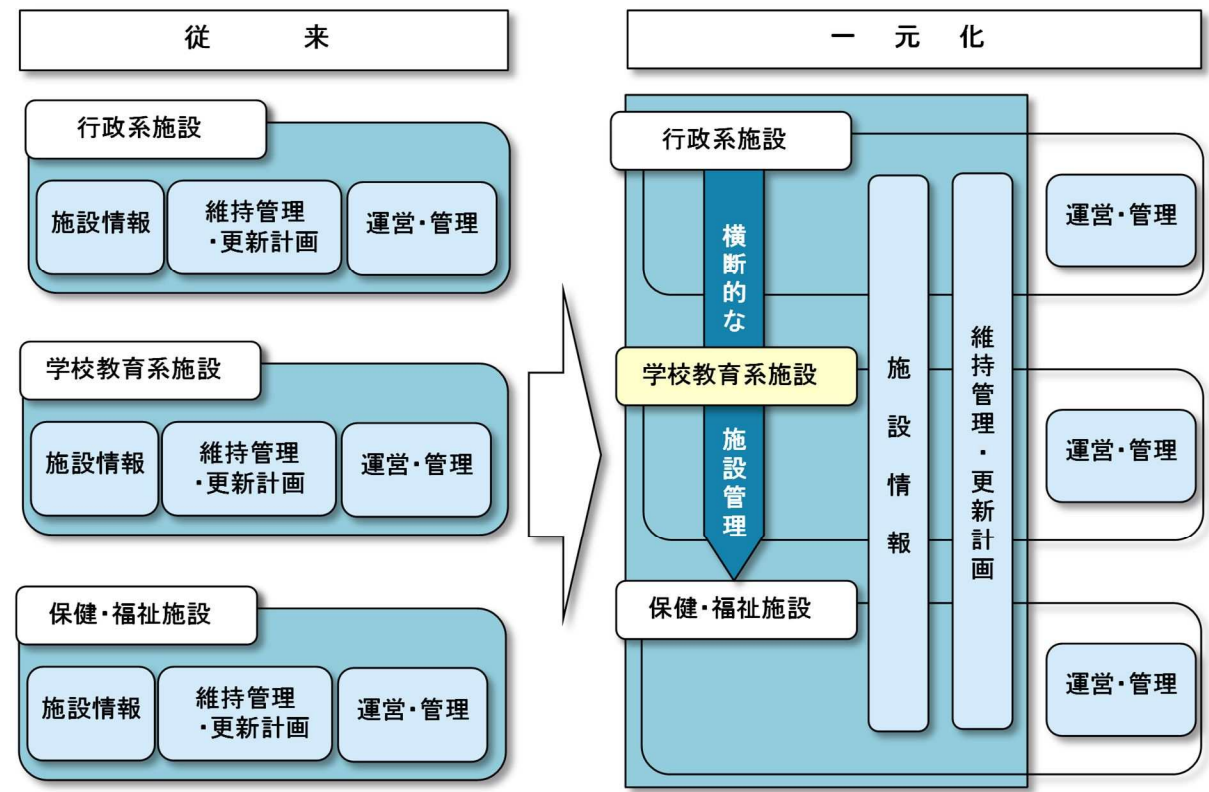
1 情報基盤の整備と活用

学校施設等の点検・診断の結果は、今後の維持管理・更新の基礎資料となる重要な情報であるため、記録・保存する必要があります。また、点検・診断後に修繕等を行った場合の修繕履歴についても、同様に記録することで、効率的な維持管理を行うことが可能となります。

このため、公有財産管理システムを活用して、施設の基本情報、改修・補修等の工事履歴や劣化情報等の一元管理を行っていきます。

また、固定資産台帳や複式簿記による財務書類との連携方法についても検討します。

◆図表 7-1 施設管理の一元化（イメージ）



2 財源の確保

学校施設等の維持管理、改修、改築等は事業費が高額となるため、今後、限られた財源の中で実効性を高めるために、学校施設等の運営面・活用面などの見直しを行うなど、総合的に検討します。

また、国の動向にも注視し、国庫補助事業や有利な地方債を有効的に活用して実施します。

3 推進体制等の整備

教育委員会を中心に、本計画を含む学校施設等マネジメントを行っていきませんが、必要に応じて学校施設等整備検討委員会（仮称）を設立します。

また、日常の施設管理の質を向上するため、専門業者による定期的な点検や各種報告書を活用して不具合箇所の早期把握と対応を図ります。

4 フォローアップの実施方針

本計画は上位計画である総合管理計画の更新等に合わせ、本計画の進捗状況等についてPDCA（計画・実行・評価・改善）サイクルを活用し、フォローアップを行います。

なお、事業の進捗状況、劣化調査などの結果を反映しながら、定期的な見直しを実施するとともに、国の制度変更や社会経済情勢の変化など、前提となる条件が大きく変わった時点で、適宜必要な見直しを行うものとします。

◆図表 7-2 PDCA（計画・実行・評価・改善）サイクル（イメージ）



豊丘村学校施設等長寿命化計画

令和3年3月

豊丘村教育委員会

〒399-3202

長野県下伊那郡豊丘村大字神稲 369

TEL : 0265-35-9053

FAX : 0265-35-2938



南信州豊丘村 **だんQくん**